OPERATION MANUAL

Kebab MkII システム
Kebab MkII L システム
取扱説明書

目次

はじめに 2
ご注意 2
おねがい 2
テレビ / ラジオの受信障害について 2
安全にお使いいただくために 3
マーク表示について 3
各部の名称とはたらきについて 9
Kebab MkII システム 装置前面 9
Kebab MkII システム 装置背面 9
Kebab MkII L システム 装置前面 10
Kebab MkII L システム 装置背面 10
使用可能ワーク 11
Kebab MkIIシステムの取り付け・取り外し 12
Kebab MkII/Kebab MkII L システムを取り付ける 12
Kebab MkII システムを UJF-3042MkIIseries,UJF200-3042 に取り付ける 12
Kebab MkII システムを UJF-3042MkIIseries, UJF200-3042 から取り外す 16
Kebab MkII L システムを UJF-6042MkIIseries, UJF200-6042 に取り付ける 19
Kebab MkII L システムを UJF-6042MkIIseries, UJF200-6042 から取り外す 24
Kebab MkII L システムを UJF-7151 plus series に取り付ける 28
Kebab MkII L システムを UJF-7151 plus series から取り外す 31
ワークをセットする 33
ワークをセットする 33
前のワークと異なる直径のワークを使用する場合の注意 34
ワーク押さえを使用する 35
ワーク押さえを取り外す 38
原点マーク検出を使用する 39
原点マーク検出を設定する 39
原点マークを使用する 40
原点マーク検出を使用しないとき 41
「ERROR 524 ワーク ゲンテン マーク」エラーの対処方法 42
作図開始位置を設定する 43
送り方向原点中央を設定する（UJF200 のみ） 45
作図データを作成する 46
ワークのサイズを測る 46
テスト作図をする 47
Kebab 印刷を有効にする 48
データを作図する 49
作図を開始する 49
作図を中止する 51
お手入れ 56
ローラ軸を清掃する 56
原点マークセンサを清掃する 57
本体仕様 58

株式会社ミマキエンジニアリング

D203139-31

はじめに

この度は、Kebab MkII システム/Kebab MkII L システムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Kebab MkII システム/Kebab MkII L システムは、筒状のワークにお好きなデザインの画像をプリントするための専用システムです。

本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

重要!

- Kebab MkII は UJF-3042 MkIIseries および UJF200-3042、Kebab MkII L は UJF-6042 MkIIseries,UJF-7151 plus series および UJF200-6042 のオプションです。本書と合わせて、お使いのプリンタの取扱説明書もよくお読みください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 2016 株式会社ミマキエンジニアリング

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。
各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

	内　容
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

⚠ 警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

排気口施工時について

本機の故障を防ぐため、 下記の注意を必ずお守りください。
(1) 排気口の形状は、お客様の建物環境によりますが、開口部の面積はダクトの 50%以上を確保してください。
(2) 排気口に閉鎖弁等を設置する場合、本機使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



- 本機で使用するインクは、危険物第４類第３石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本機を使用する場所は、火気厳禁としてください。



- ヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。

- 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

絶対にしないでください

⚠ 警　告

分解・改造はしない



- 本機やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

湿気の多い場所では使用しない



- 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

インクカートリッジの取り扱い

- 一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

保護具着用

- 吸引ノズルのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。

電源ケーブルの取り扱い

- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 警　告

電源、 電圧について



- 表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。



- 点灯中の LED UV 装置は絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。
- 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。



- メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサの電荷放電時間に 1 分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず 3 分後に作業するようにしてください。
- LED UV 装置がまれに破損することがあります。定格寿命もしくは、それ以前の LED UV 装置の交換をお勧めします。



- 本機の主電源スイッチの投入作業も、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。
- 点灯中や消灯直後は熱いので、LED UV 装置には手を触れないでください。ヤケドの原因となります。

LED UV 装置の取り扱い



- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布を LED UV 装置に近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。

不凍液の取り扱い



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。冷却装置が故障する恐れがあります。
- 不凍液は、直接肌に触れないようにしてください。
  万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。
  万一、不凍液が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。
- 誤って不凍液を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 不用となった不凍液は以下の方法で処分してください。
- おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する
- 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。



- 不凍液を取り扱う場合は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してください。



使用上のご注意

⚠ 注　意

ホコリから守る

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを２または３に設定してください。
- 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。
- メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。
- ホコリが原因で、作図中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる場合があります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。（☞ お使いのプリンタの取扱説明書をご参照ください。）

定期交換部品があります

- 本機には、別に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めします。

装置を水平に保つ

- 本機を水平に保つようにしてください。

メンテナンス用洗浄液について

- メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

警告ラベルについて

- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

不凍液について

- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。

インクカートリッジについて

- カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に３時間以上放置してから利用してください。
- カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。
- カートリッジは、冷暗所で保存してください。
- カートリッジを開封後は、早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。

- 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。

紫外線について

- LED UV 装置周辺から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。



- 紫外線の目への障害として、急性障害；異物等、とう痛および涙が流れる等があります。慢性障害；白内障等があります。本機を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。

高温について

- LED UV 装置は、非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV 装置消灯後十分温度が下がってから行ってください。



- 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。

⚠ 注　意

LED UV 装置の注意

- LED UV 装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。）

- LED UV 装置の性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の LED UV 装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。

清掃について

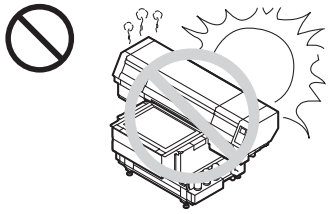
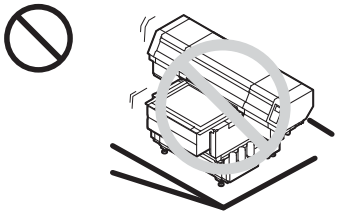
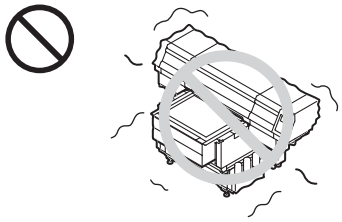
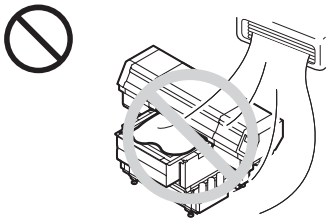
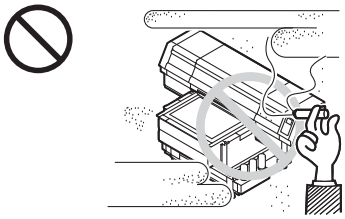
- 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。
- 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでなく、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。
- 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。
- 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。
- 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。

発火、 発煙について

- LED UV 装置等の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。
  また、LED UV 装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。

- 長年の使用で、安定器やその他使用部品についてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性があります。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。
- 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。
- 本機は防爆タイプではありません。危険物雰囲気での使用は爆発等の危険があります。危険物雰囲気での使用を禁止します。
- 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。

設置上のご注意

⚠ 注　意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		•次の環境下でお使いください。 使用環境： 20 ～ 30 ℃ 35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		

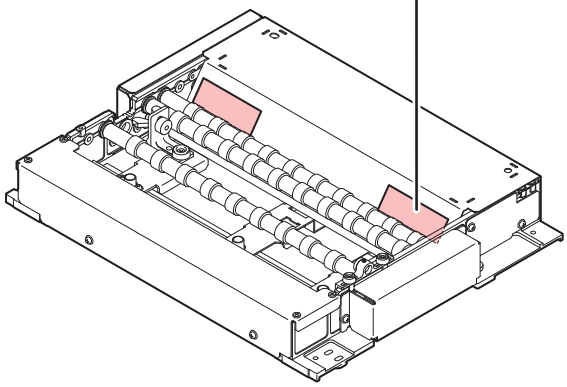
警告ラベルについて

Kebab MkII システム/Kebab MkII L システムには、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。

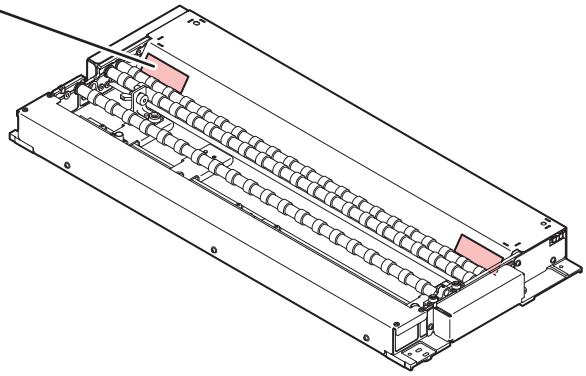
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

M921125





【Kebab MkII システム】



【Kebab MkII L システム】

各部の名称とはたらきについて

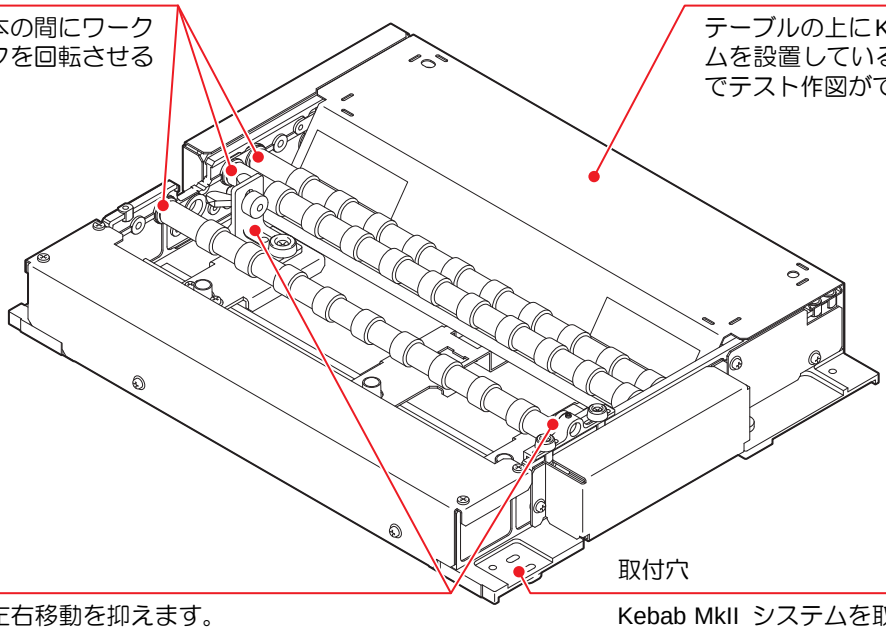
Kebab MkII システム 装置前面

ローラー軸

前後どちらか 2 本の間にワークを載せて、ワークを回転させる軸です。

テスト作図領域

テーブルの上にKebab MkIIシステムを設置している場合、この領域でテスト作図ができます。



ワーク押さえ

ワーク回転時の左右移動を抑えます。
大径ワーク時に使用可能です。
小径ワーク時は取り外します。

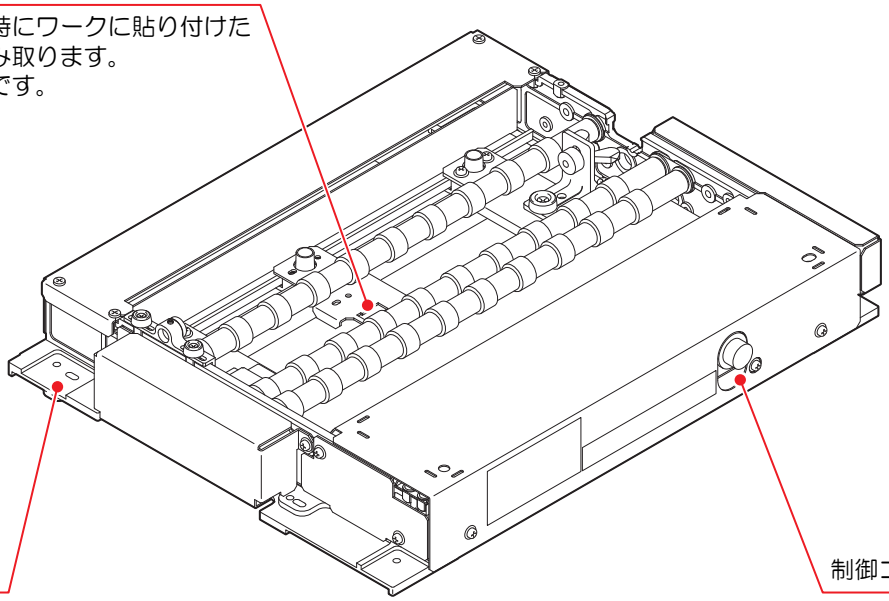
取付穴

Kebab MkII システムを取り付けるための穴です。反対側にもあります。

Kebab MkII システム 装置背面

原点マークセンサ

原点マーク検出時にワークに貼り付けた原点マークを読み取ります。
左右に移動可能です。



取付穴

Kebab MkII システムを取り付けるための穴です。

制御コネクタ

オプション中継ケーブルでプリンタと接続します。

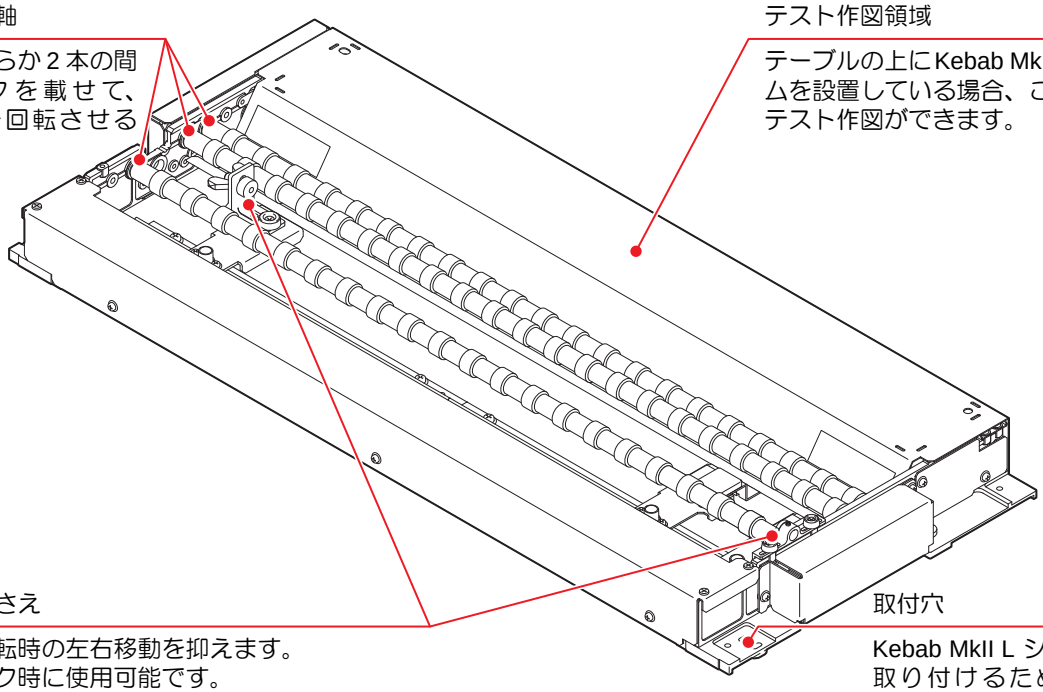
Kebab MkII L システム 装置前面

ローラー軸

前後どちらか 2 本の間にワークを載せて、ワークを回転させる軸です。

テスト作図領域

テーブルの上にKebab MkII Lシステムを設置している場合、この領域でテスト作図ができます。



ワーク押さえ

ワーク回転時の左右移動を抑えます。
大径ワーク時に使用可能です。
小径ワーク時は取り外します。

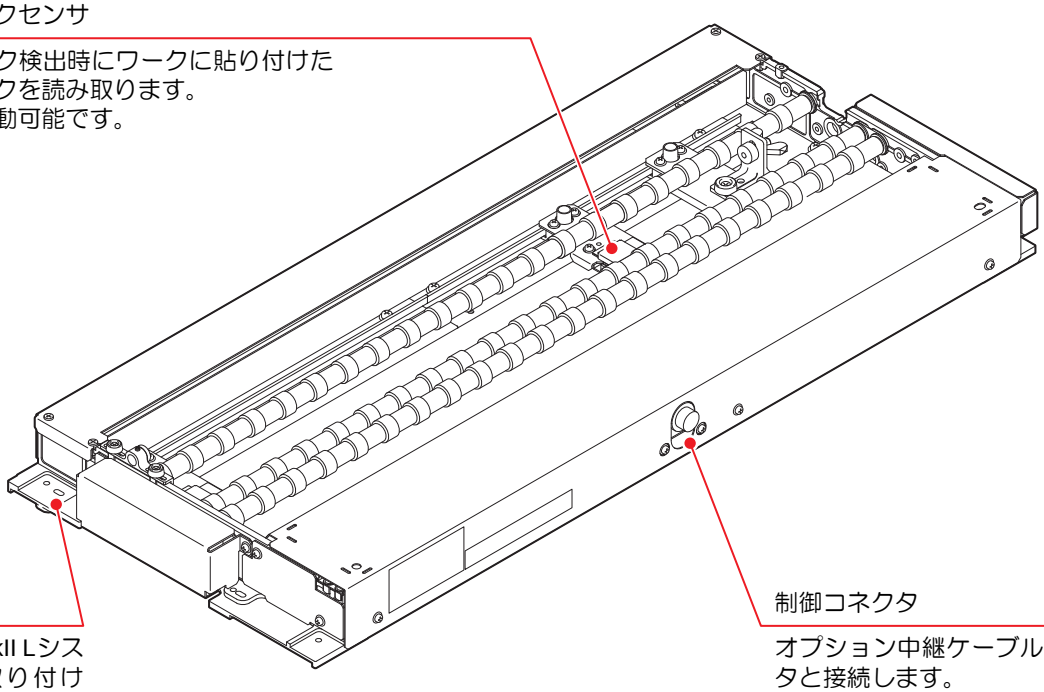
取付穴

Kebab MkII L システムを取り付けるための穴です。反対側にもあります。

Kebab MkII L システム 装置背面

原点マークセンサ

原点マーク検出時にワークに貼り付けた原点マークを読み取ります。
左右に移動可能です。



取付穴

Kebab MkII Lシステムを取り付けるための穴です。

制御コネクタ

オプション中継ケーブルでプリンタと接続します。

使用可能ワーク

		Kebab MkII システム	Kebab MkII L システム
形状		円筒形状	
長さ	最大	300mm	600mm
	最小	30mm	30mm
直径	最大	110mm	110mm
	最小	10mm	10mm
最大作図幅		300mm	600mm
作図可能ワーク重量		小径 : 1.5kg 以下 / 大径 : 2.0kg 以下	

重要!

- ワークの表面素材や凹凸・重量などによって、複数回重ねての作図時に作図ごとのズレが発生する、色むらが発生するなど作図に影響がある場合があります。
  必ず、事前にテスト印刷を行い、作図に問題が無いことを確認してください。

Kebab MkIIシステムの取り付け・取り外し

Kebab MkII/Kebab MkII L システムを取り付ける

Kebab MkII, Kebab MkII L システムは、それぞれ下記プリンタに設置してお使いになれます。

装置名称	対応プリンタ
Kebab MkII	UJF-3042MkII, UJF-3042MkIIe, UJF200-3042
Kebab MkII L	UJF-6042MkII, UJF-6042MkIIe, UJF200-6042
	UJF-7151 plus, UJF-7151plusII

Kebab MkII システムを UJF-3042MkIIseries,UJF200-3042 に取り付ける

Kebab MkII システムを取り付けるときは、次のように取り付けてください。

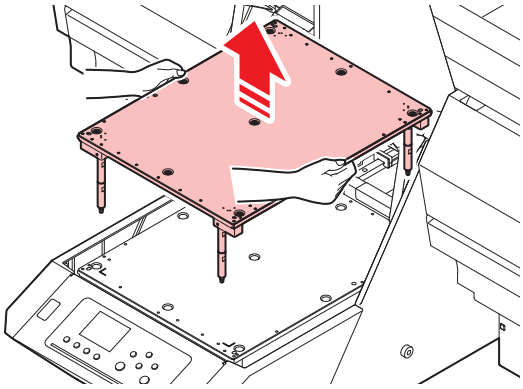
1 プリンタ本体の主電源を落とす（UJF200 の場合は主電源を落とす必要はありません。）

2 正面カバーを開ける

- UJF200 の場合、正面のカバーを開けたら手順 5 に進んでください。

3 テーブルを持ち上げて取り外す

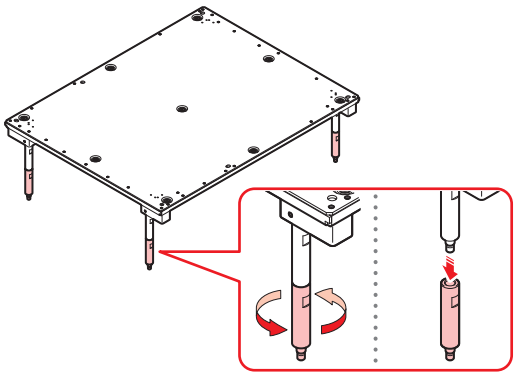
重要！ • テーブルの両側面を持って垂直に持ち上げます。



4 使用するワークの直径に合わせて、テーブルの支持シャフトを表中の本数にする

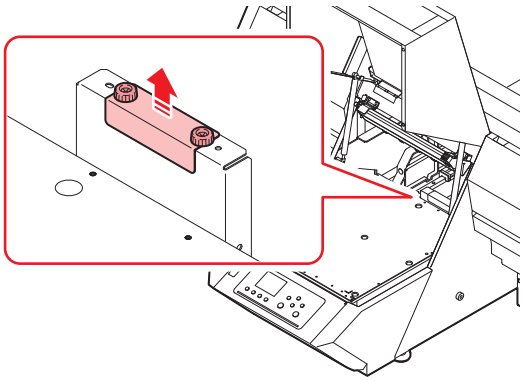
- UJF200 はこの作業は不要です。

使用ワーク直径	支持シャフト本数
10 ～ 65mm 未満	1 本
65mm ～ 110mm	0 本

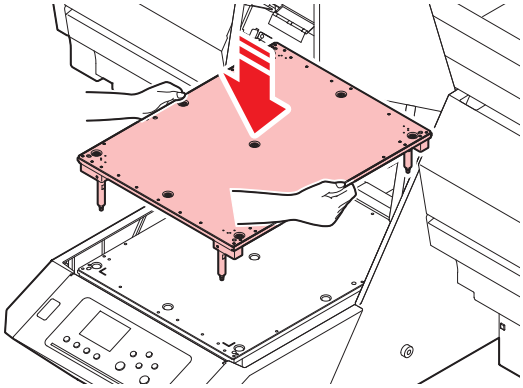


5 プリンタ中央に見えるコネクタパネル K を外す

- UJF200 の場合は、丸形のコネクタキャップを外して手順 8 に進んでください。



6 外したテーブルを取り付ける



7 プリンタ本体の主電源・電源を入れる

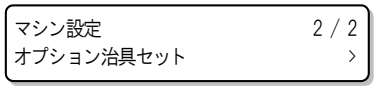
8 ローカルモードで MENU キーを押す



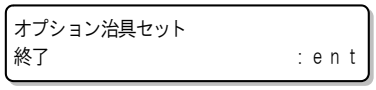
9 ▲ ▼を押して、UJF200 の場合は [環境設定]、その他の機種は [マシン設定] を選び ENTER キーを押す



10 ▲ ▼を押して、[オプション治具セット] を選ぶ



11 ENTER キーを押す



- UJF200 の場合はテーブルが上がります。その他の機種はテーブルが下がります。

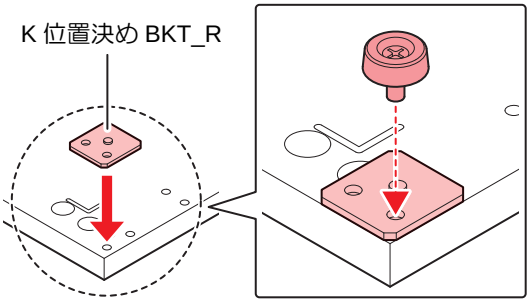
重要！

- ENTER キーを押すと、ディスプレイには “ 終了 :ent ” が表示されます。手順 15 までの作業が完了するまでは ENTER キーを押さないでください。交換作業が終了する前に ENTER キーを押すと、プリンタは Kebab MkII システムの自動認識動作を開始します。

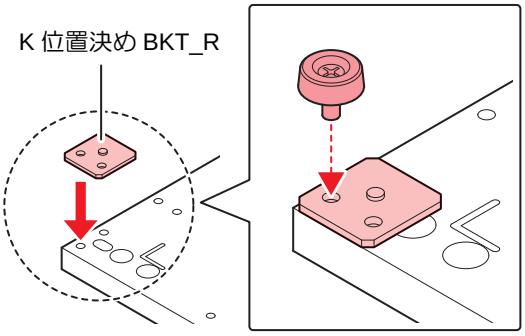
12 Kebab MkII システムを取り付ける

- UJF-3042MkIIseries, UJF200-3042 に、Kebab MkII システムを取り付けます。

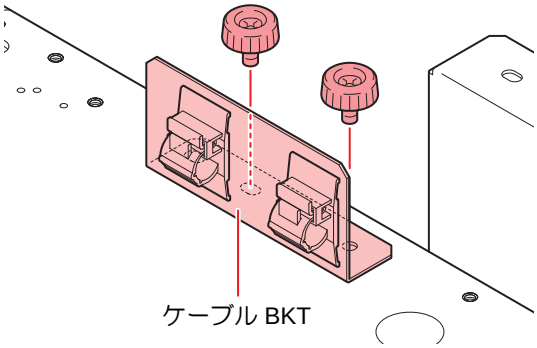
(1) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前右側の隅に K 位置決め BKT_R を取り付ける



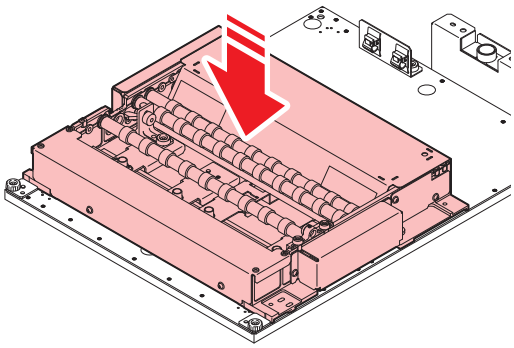
(2) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前左側の隅に K 位置決め BKT_R を取り付ける



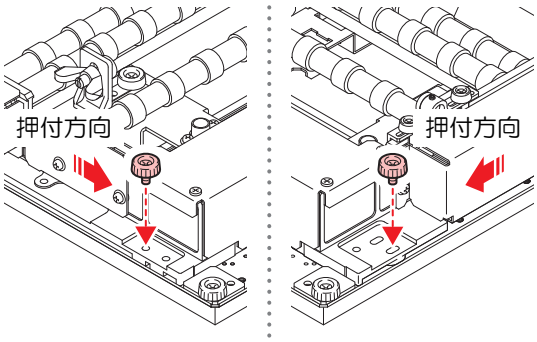
(3) テーブル奥にケーブル BKT を取り付ける



(4) Kebab MkII システムをテーブルの上に置く



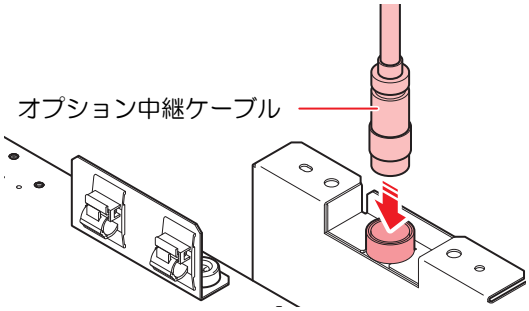
(5) Kebab MkII システムを K 位置決め BKT_R に突き当てながら、付属のプラポイントネジを使いテーブルに固定する



重要!
- Kebab MkII システムとテーブルの間に隙間が無いことを確認してください。
- 隙間がある場合は、次のようにしてください。
  Kebab MkII システムを上から軽く押し込む
  UJF-3042MkIIseries, UJF200-3042 のテーブル上に、ゴミなどが無いか確認する
  Kebab MkII システムの裏面に、ゴミなどが付着していないか確認する

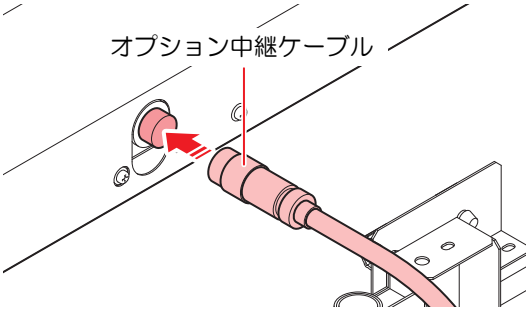
13 プリンタ本体に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



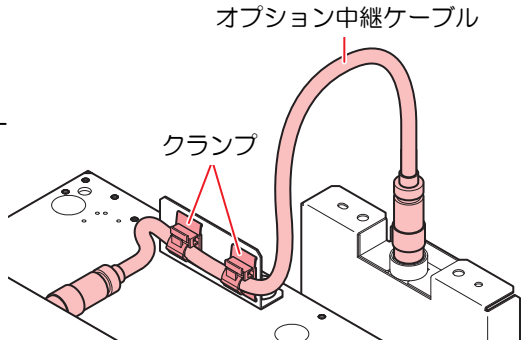
14 Kebab MkII システム背面に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



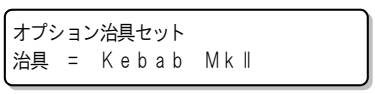
15 オプション中継ケーブルをクランプで固定する

- ケーブル BKT に付いているクランプで、オプション中継ケーブルを固定します。



16 ENTER キーを押す

- プリンタが Kebab MkII システムの自動認識を行います。



Kebab MkII システムを UJF-3042MkIIseries, UJF200-3042 から取り外す

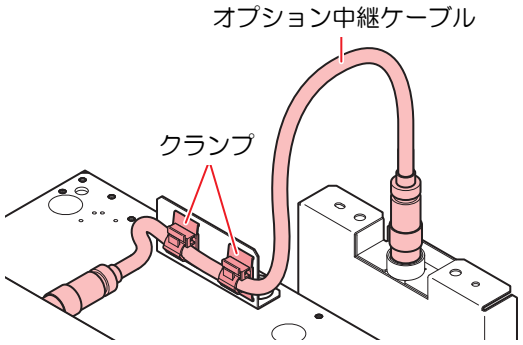
それまで作図していたワークと直径の異なるワークを作図する場合、一度 Kebab MkII システムを取り外し、直径に合わせたテーブルの上に Kebab MkII システムを取り付け直さなければならないことがあります。(UJF-3042MkIIsereis の場合)

Kebab MkII システムを取り外すときは、次のようにして取り外してください。

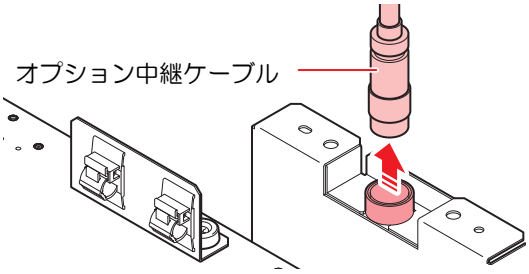
1 **UJF200 の場合は、電源を落とさずにローカルモードから [環境設定]>[オプション治具セット] を選択し ENTER キーを押す**
その他の機種は、プリンタ本体の主電源を落とす

2 正面カバーを開ける

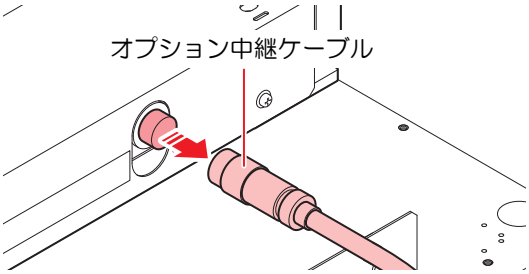
3 オプション中継ケーブルを固定しているクランプを取り外す



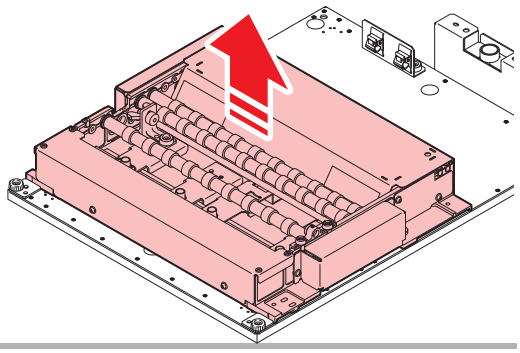
4 プリンタ本体から、オプション中継ケーブルを取り外す



5 **Kebab MkII システム背面から、オプション中継ケーブルを取り外す**

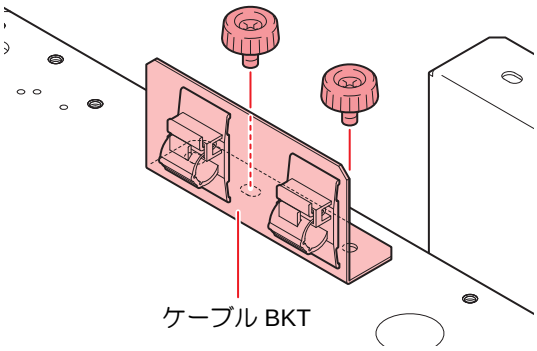


6 Kebab MkII を固定しているプラポイントネジを外し、Kebab MkII システムを取り外す



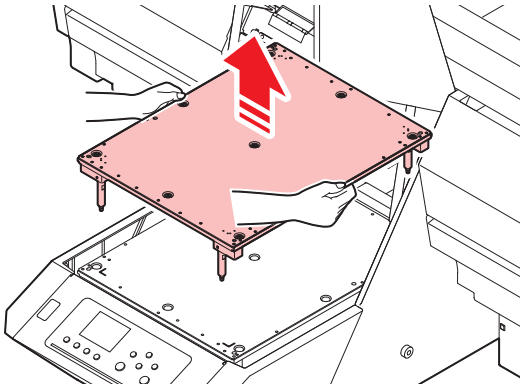
7 ケーブル BKT を取り外す

- UJF200 の場合、次は手順 10 に進んでください。



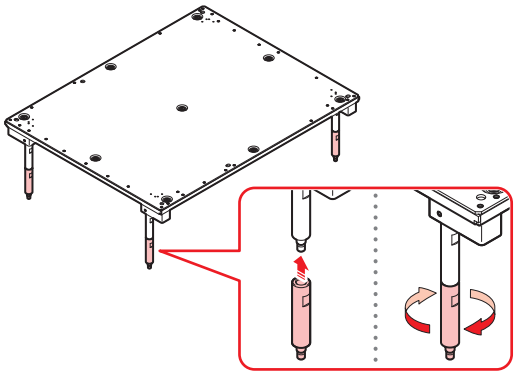
8 テーブルを持ち上げて取り外す

重要！
- テーブルの両側面を持って垂直に持ち上げます。



9 目的に合わせて、テーブルの支持シャフトを表中の本数にする

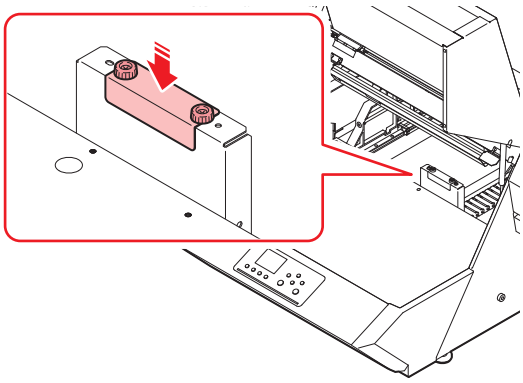
- 支持シャフトの本数を調整後は、目的が①, ②の場合 : “Kebab MkII システムを UJF-3042MkIIseries に取り付ける” の手順 10 へ進んでください。
- 目的が③の場合 : 引き続き本項の手順 10 へ進んでください。



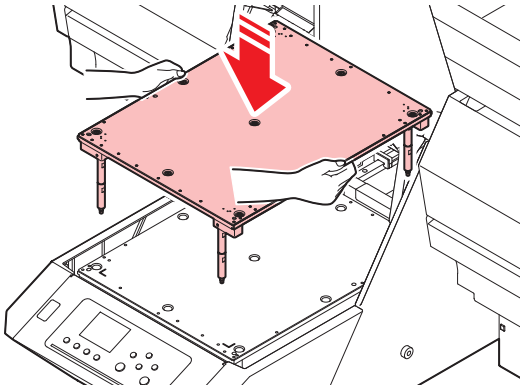
目的	支持シャフト本数
①ワークを直径 10~65mm 未満の物に変える	1 本
②ワークを直径 65mm~110mm の物に変える	0 本
③ Kebab MkII システムを取り外す	2 本

10 プリンタ中央にコネクタパネル K を取り付ける

- UJF200 の場合は、丸型のコネクタキャップを取りけて、手順 12 に進んでください。

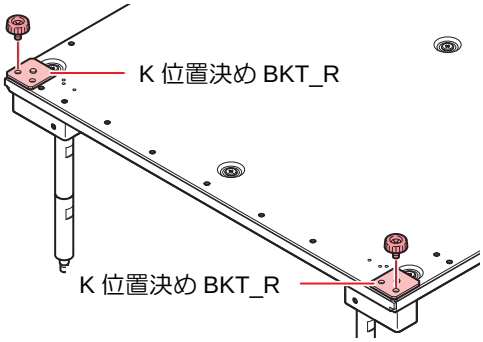


11 外したテーブルを取り付ける



12 テーブル手前両端のK位置決めBKT_R (x2) を取り外す

- UJF200 は図の支持シャフトはありません。



13 正面カバーを閉める

14 UJF200 の場合は、[オプション治具セット]>[終了　:ent] で ENTER キーを押す（取り外されたことを自動認識します。）
その他の機種は、プリンタの電源を入れる

Kebab MkII L システムを UJF-6042MkIIseries, UJF200-6042 に取り付ける

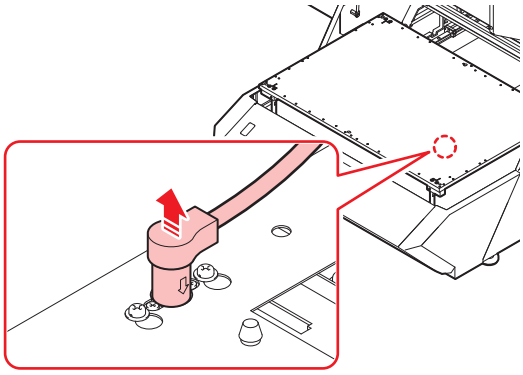
Kebab MkII L システムを取り付けるときは、次のように取り付けてください。

1 プリンタ本体の主電源を落とす（**UJF200** の場合は主電源を落とす必要はありません。）

2 正面カバーを開ける

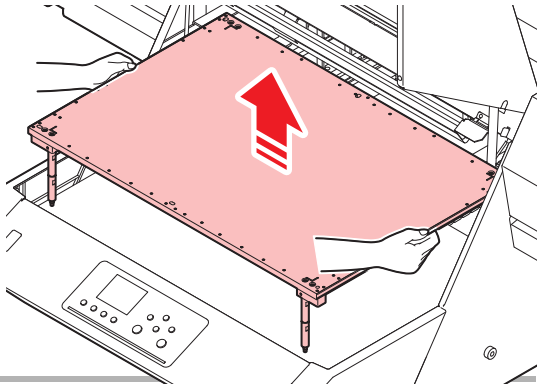
- UJF200 の場合、正面のカバーを開けたら手順 6 に進んでください。

3 テーブル下面のケーブルを本体側から抜く



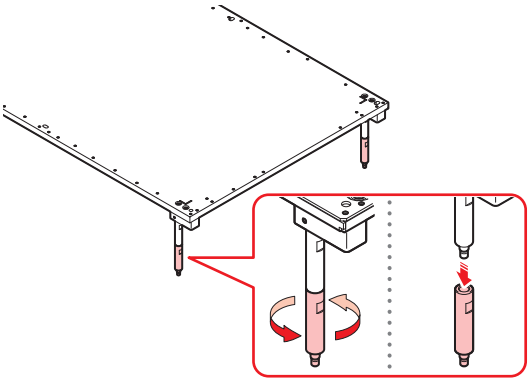
4 テーブルを持ち上げて取り外す

重要！ • テーブルの両側面を持って垂直に持ち上げます。



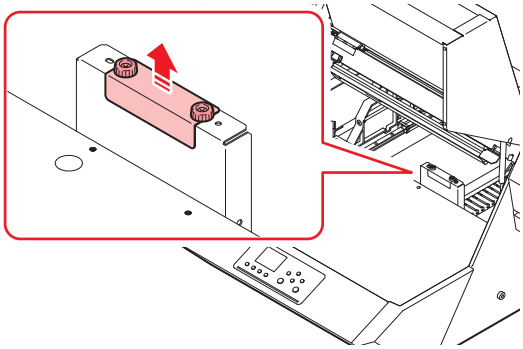
5 使用するワークの直径に合わせて、テーブルの支持シャフトを表中の本数にする

使用ワーク直径	支持シャフト本数
10 ～ 65mm 未満	1 本
65mm ～ 110mm	0 本

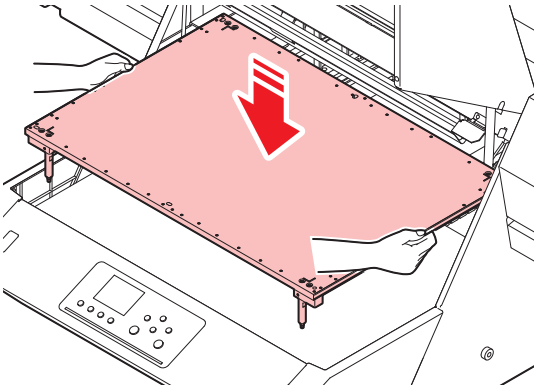


6 プリンタ中央に見えるコネクタパネル K を外す

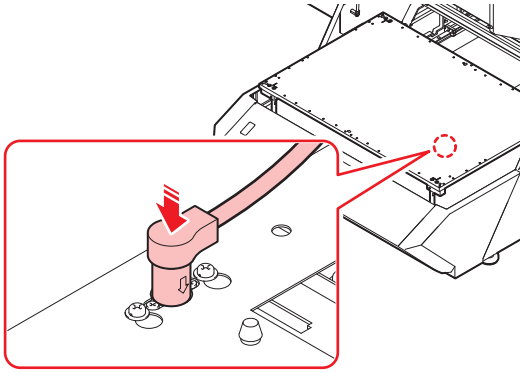
- UJF200 の場合は、丸型のコネクタキャップをはずして、手順 10 に進んでください。



7 外したテーブルを取り付ける



8 テーブル下面のケーブルを、プリンタ本体へ差し込む

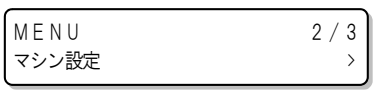


9 プリンタ本体の主電源・電源を入れる

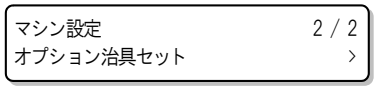
10 ローカルモードで MENU キーを押す



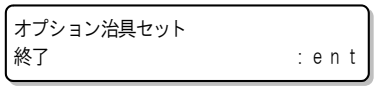
11 ▲ ▼ を押して、UJF200 の場合は [環境設定]、その他の機種は [マシン設定] を選び ENTER キーを押す



12 ▲ ▼を押して、[オプション治具セット] を選ぶ



13 ENTER キーを押す



- UJF200 の場合はテーブルが上がります。その他の機種はテーブルが下がります。

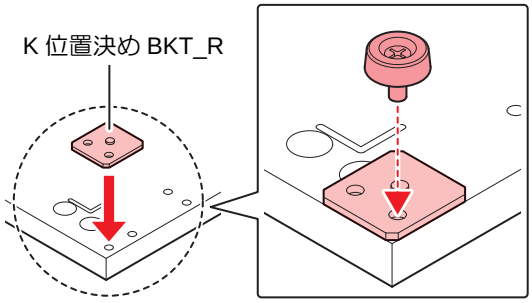
重要！

- ENTER キーを押すと、ディスプレイには “ 終了 :ent ” が表示されます。手順 17 までの作業が完了するまでは ENTER キーを押さないでください。交換作業が終了する前に ENTER キーを押すと、プリンタは Kebab MkII L システムの自動認識動作を開始します。

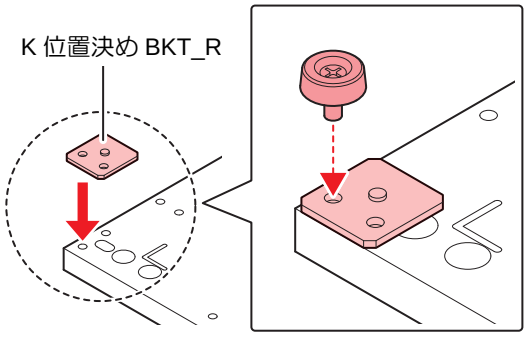
14 Kebab MkII L システムを取り付ける

- UJF-6042MkIIseries, UJF200-6042 に、Kebab MkII L システムを取り付けます。

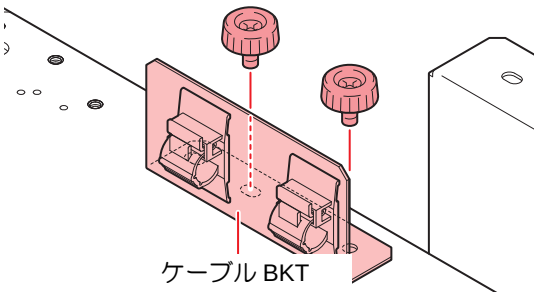
(1) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前右側の隅に K 位置決め BKT_R を取り付ける



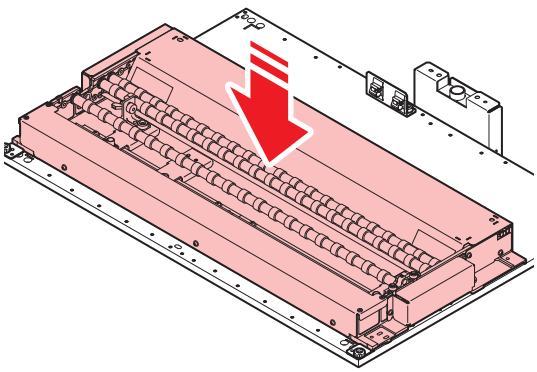
(2) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前左側の隅に K 位置決め BKT_R を取り付ける



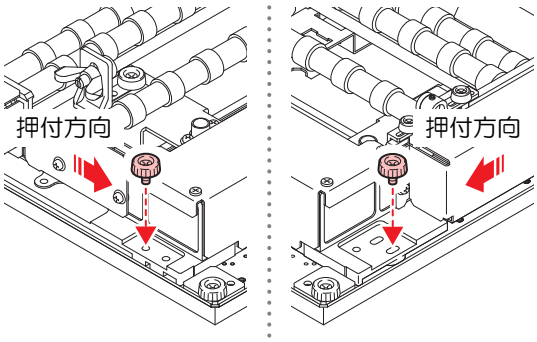
(3) テーブル奥にケーブル BKT を取り付ける



(4) Kebab MkII L システムをテーブルの上に置く



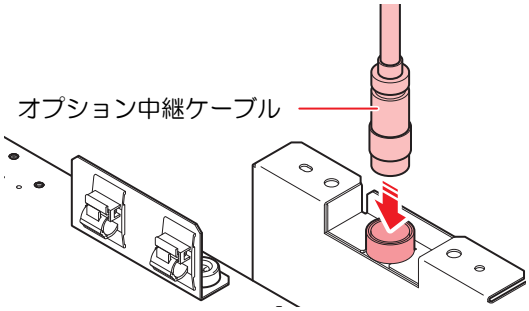
(5) Kebab MkII L システムを K 位置決め BKT_R に突き当てながら、付属のプラポイントネジを使いテーブルに固定する



重要！
- Kebab MkII L システムとテーブルの間に隙間が無いことを確認してください。
- 隙間がある場合は、次のようにしてください。
  Kebab MkII L システムを上から軽く押し込む
  UJF-6042 MkII のテーブル上に、ゴミなどが無いか確認する
  Kebab MkII L システムの裏面に、ゴミなどが付着していないか確認する

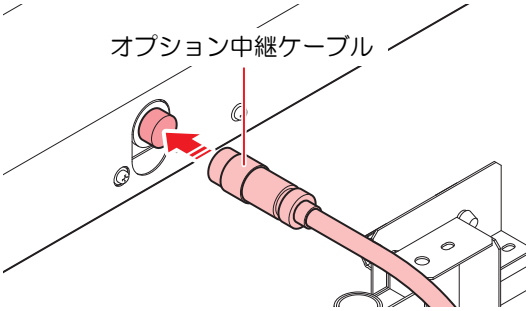
15 プリンタ本体に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



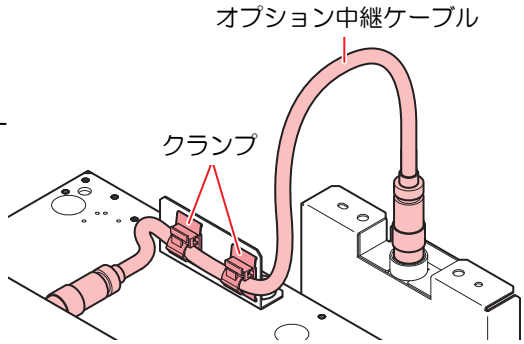
16 Kebab MkII L システム背面に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



17 オプション中継ケーブルをクランプで固定する

- ケーブル BKT に付いているクランプで、オプション中継ケーブルを固定します。



18 ENTER キーを押す

- プリンタが Kebab MkII L システムの自動認識を行います。



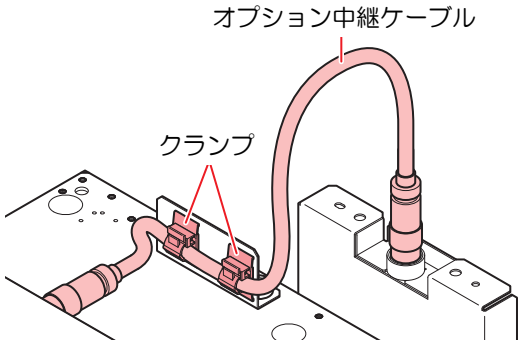
Kebab MkII L システムを UJF-6042MkIIseries, UJF200-6042 から取り外す

それまで作図していたワークと直径の異なるワークを作図する場合、一度 Kebab MkII L システムを取り外し、直径に合わせたテーブルの上に Kebab MkII L システムを取り付け直さなければならないことがあります。(UJF-6042MkIIsereis の場合)
Kebab MkII L システムを取り外すときは、次のようにして取り外してください。

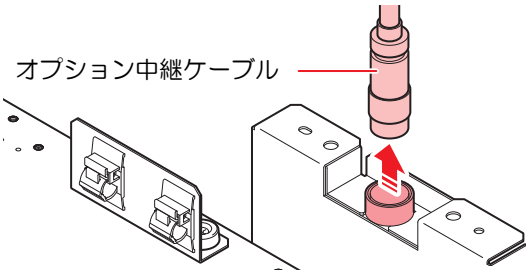
1 **UJF200 の場合は、電源を落とさずにローカルモードから [環境設定]>[オプション治具セット] を選択し ENTER キーを押す**
その他の機種は、プリンタ本体の主電源を落とす

2 正面カバーを開ける

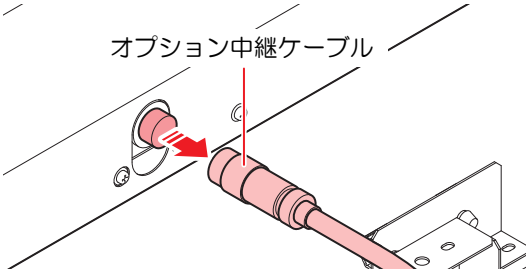
3 オプション中継ケーブルを固定しているクランプを取り外す



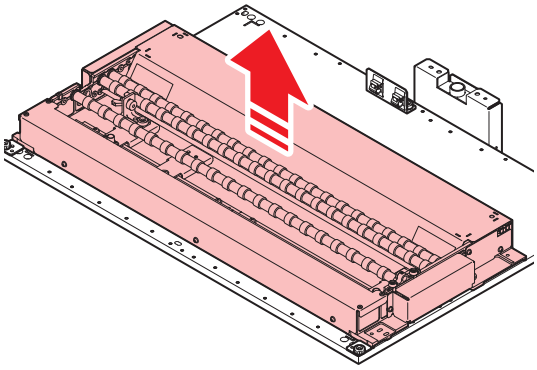
4 プリンタ本体から、オプション中継ケーブルを取り外す



5 **Kebab MkII L システム背面から、オプション中継ケーブルを取り外す**

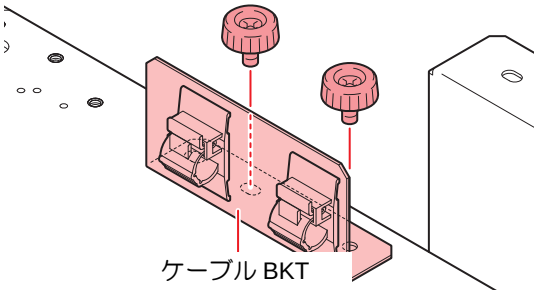


6 Kebab MkII L を固定しているプラポイントネジを外し、Kebab MkII L システムを取り外す

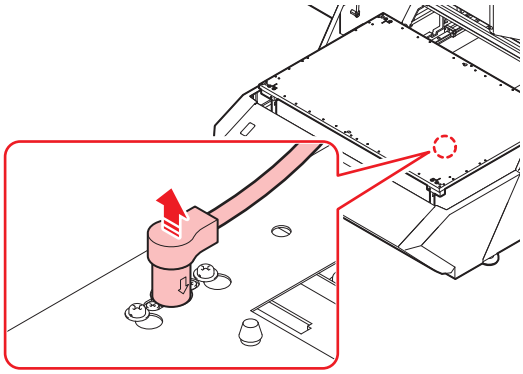


7 ケーブル BKT を取り外す

- UJF200 の場合、次は手順 11 に進んでください。



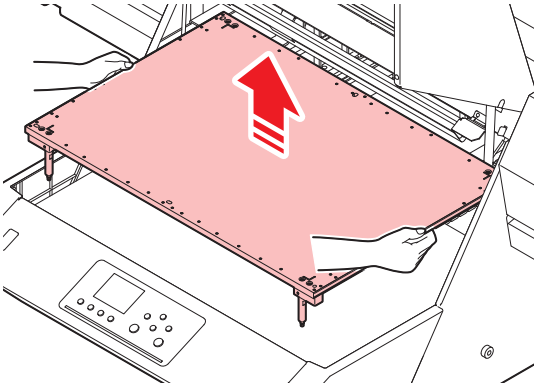
8 テーブル下面のケーブルを本体側から抜く



9 テーブルを持ち上げて取り外す

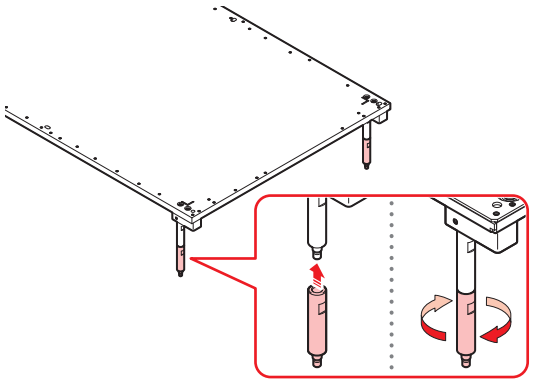
重要！

- テーブルの両側面を持って垂直に持ち上げます。



10 目的に合わせて、テーブルの支持シャフトを表中の本数にする

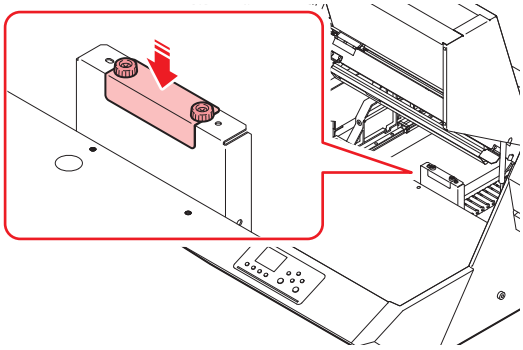
- 支持シャフトの本数を調整後は、目的が①, ②の場合：
  “Kebab MkII L システムをUJF-6042MkIIseriesに取り付ける”
  の手順 7 へ進んでください。
- 目的が③の場合：
  引き続き本項の手順 11 へ進んでください。



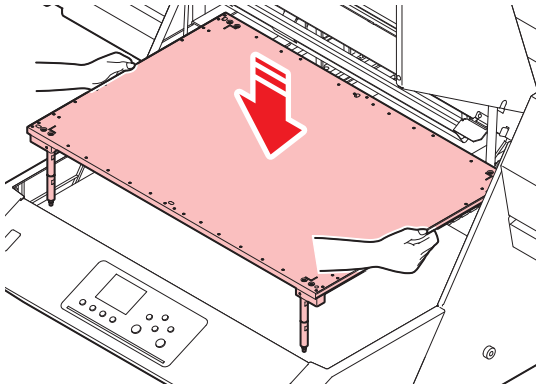
目的	支持シャフト本数
①ワークを直径 10~65mm 未満の物に変える	1 本
②ワークを直径 65mm~110mm の物に変える	0 本
③ Kebab MkII L システムを取り外す	2 本

11 プリンタ中央にコネクタパネル K を取り付ける

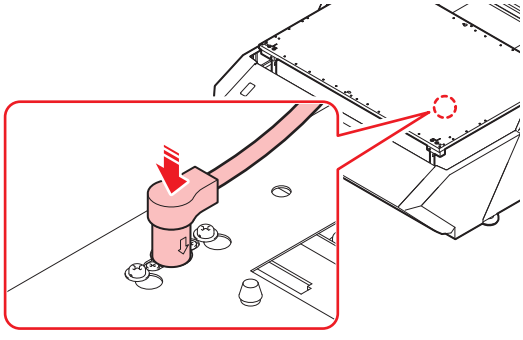
- UJF200 の場合は、丸型のコネクタキャップを取りけて、手順 14 に進んでください。



12 外したテーブルを取り付ける

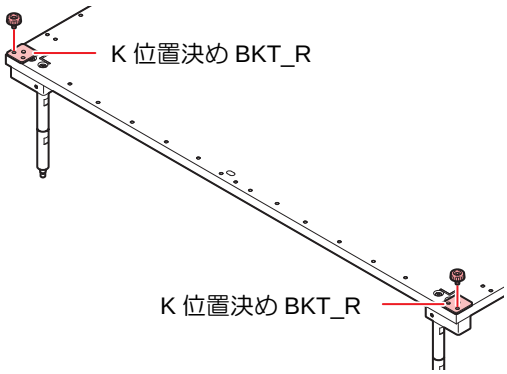


13 テーブル下面のケーブルを、プリンタ本体へ差し込む



14 テーブル手前両端のK位置決めBKT_R (x2) を取り外す

- UJF200 は図の支持シャフトはありません。



15 正面カバーを閉める

16 **UJF200** の場合は、**[** オプション治具セット **]>[** 終了　**:ent]** で ENTER キーを押す（取り外されたことを自動認識します。）
その他の機種は、プリンタの電源を入れる

Kebab MkII L システムを UJF-7151 plus series に取り付ける

Kebab MkII L システムを取り付けるときは、次のように取り付けてください。

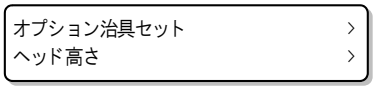
1 ローカルモードで MENU キーを押す



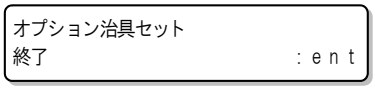
2 マシン設定で ENTER キーを押す



3 ▲ ▼を押して、[オプション治具セット] を選ぶ



4 ENTER キーを押す



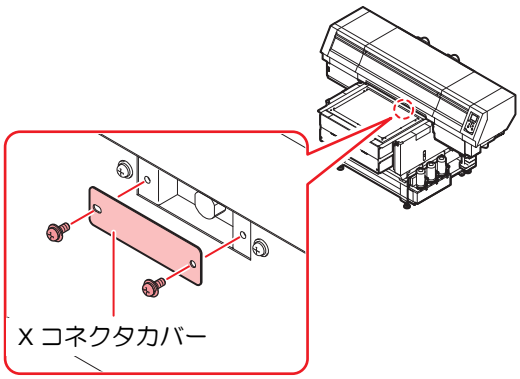
- テーブルが下がります。

重要！

- ENTER キーを押すと、ディスプレイには “ 終了 :ent ” が表示されます。手順 8 までの作業が完了するまでは ENTER キーを押さないでください。交換作業が終了する前に ENTER キーを押すと、プリンタは Kebab MkII L システムの自動認識動作を開始します。

5 X コネクタカバーを外す

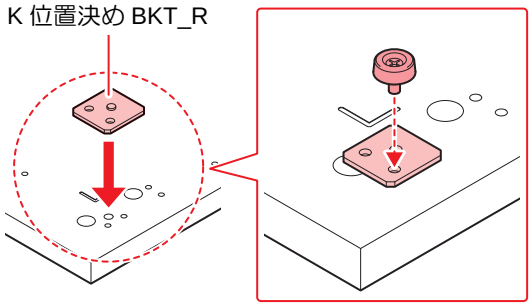
- テーブル正面に見えるネジを外し、X コネクタカバーを外します。



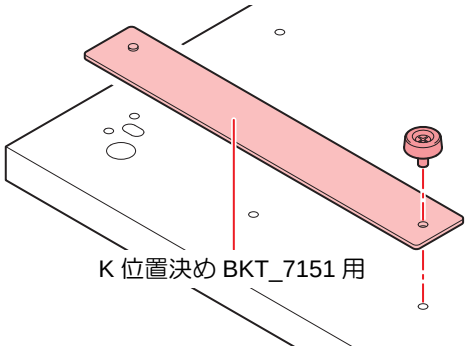
6 Kebab MkII L システムを取り付ける

- UJF-7151 plus series に、Kebab MkII L システムを取り付けます。

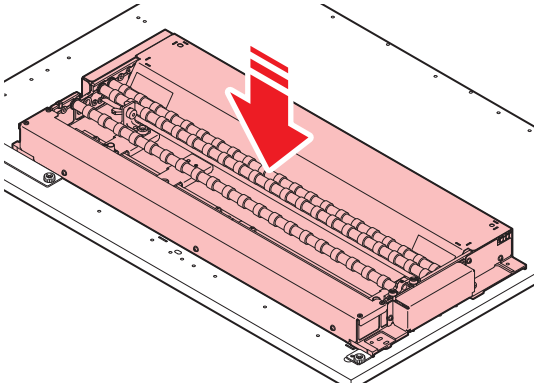
(1) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前右側の隅に K 位置決め BKT_R を取り付ける



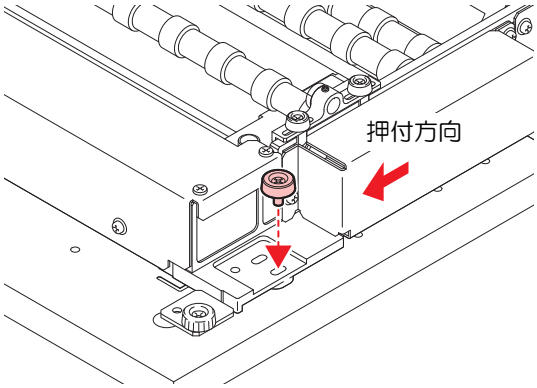
(2) 付属のプラポイントネジを使い、テーブル手前左側の隅に K 位置決め BKT_7151 用を取り付ける



(3) Kebab MkII L システムをテーブルの上に置く



(4) Kebab MkII L システムを K 位置決め BKT_R に突き当てながら、付属のプラポイントネジを使いテーブルに固定する

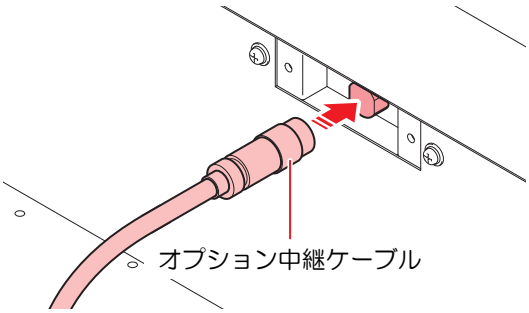


重要！

- Kebab MkII L システムとテーブルの間に隙間が無いことを確認してください。
- 隙間がある場合は、次のようにしてください。
  Kebab MkII L システムを上から軽く押し込む
  UJF-7151 plus series のテーブル上に、ゴミなどが無いか確認する
  Kebab MkII L システムの裏面に、ゴミなどが付着していないか確認する

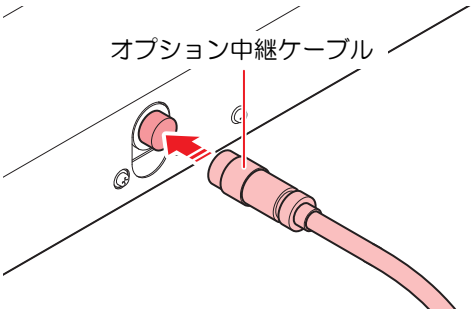
7 プリンタ本体に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



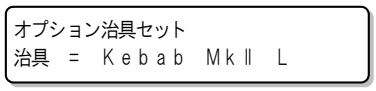
8 Kebab MkII L システム背面に、オプション中継ケーブルを差し込む

- プリンタが動作中に抜けないよう、確実にケーブルを差し込んでください。



9 ENTER キーを押す

- プリンタが Kebab MkII L システムの自動認識を行います。



Kebab MkII L システムを UJF-7151 plus series から取り外す

Kebab MkII L システムを取り外すときは、次のようにして取り外してください。

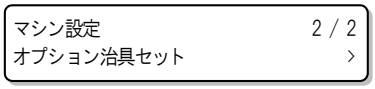
1 ローカルモードで MENU キーを押す



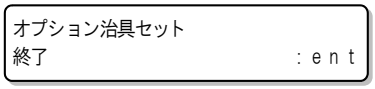
2 マシン設定で ENTER キーを押す



3 ▲ ▼ を押して、[オプション治具セット] を選ぶ



4 ENTER キーを押す

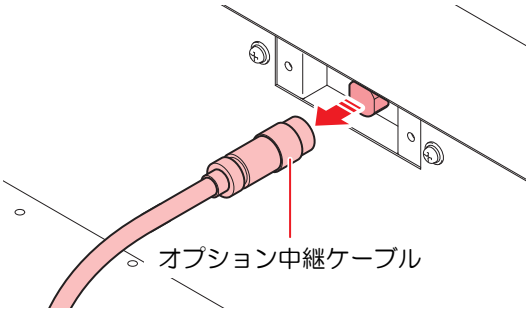


- テーブルが下がります。

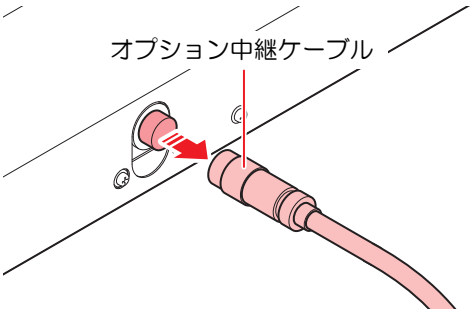
重要！

- ENTER キーを押すと、ディスプレイには “ 終了 :ent ” が表示されます。手順 6 までの作業が完了するまでは ENTER キーを押さないでください。交換作業が終了する前に ENTER キーを押すと、プリンタは Kebab MkII L システムの自動認識動作を開始します。

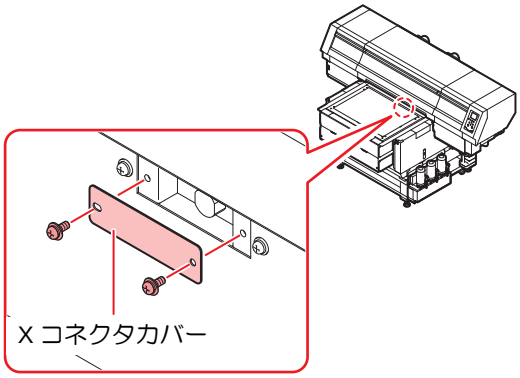
5 プリンタ本体から、オプション中継ケーブルを取り外す



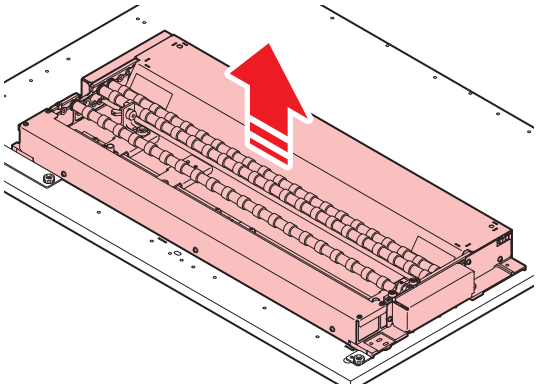
6 **Kebab MkII L システム背面から、オプション中継ケーブルを取り外す**



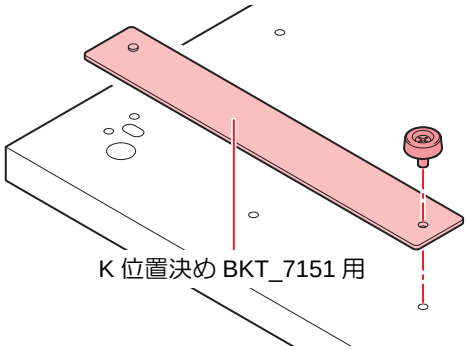
7 X コネクタカバーを取り付ける



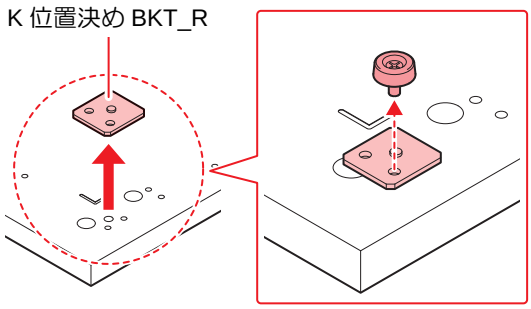
8 Kebab MkII L を固定しているプラポイントネジを外し、Kebab MkII L システムを取り外す



9 テーブル手前左側の K 位置決め BKT_7151 用を取り外す



10 テーブル手前右側の K 位置決め BKT_R を取り外す



11 ENTER キーを押す

- プリンタが Kebab MkII L システムの自動認識を行います。

オプション治具セット
治具 = なし

ワークをセットする

ワークをセットする

ワークを治具にセットします。
Kebab MkII, Kebab MkII L システムでは、同じ直径のワークを一度に複数個セットすることができます。

1 ローカルモードで FUNC1 キーを押す

```
MENU                1/3
ワーク セット          >
```

2 ▲ ▼ を押して、[ワークセット] を選ぶ

```
MENU                1/3
ワーク セット          >
```

3 ENTER キーを押す

- テーブルが下がります。

4 作図するワークの直径を測り、入力する

- ノギスを使用し、正確な数値を入れてください。
- 入力可能範囲 : 10.0 ~ 110.0mm (☞ P.58)

```
ワーク セット
直径 D=45.7mm
```

5 ENTER キーを押す

- ワークの直径によって、Kebab MkII, Kebab MkII L システムでのワークのセット位置 (小径または大径) が異なります。ディスプレイにワークのセット場所が表示されるので、表示に従ってワークをセットしてください。

【UJF-7151 plus series,UJF200-3042/6042】

直径 45.0mm 未満の場合

```
ワーク セット
小径側にセット        :ent
```

直径 45.0mm 以上の場合

```
ワーク セット
大径側にセット        :ent
```

- **ワーク取付表**

ワークの直径	45mm 未満	45mm 以上
ワークのセット位置	小径	大径

- UJF-3042MkIIseries/6042MkIIseries は、使用するワークの直径に合わせて、テーブルの支持シャフトを表中の本数にしてください。

使用ワーク直径	支持シャフト本数
10 ～ 65mm 未満	1 本
65mm ～ 110mm	0 本

【UJF-3042MkIIseries/6042MkIIseries】

直径 45.0mm 未満の場合

```
テーブルスペーサ 50をセット
小径側にセット        :ent
```

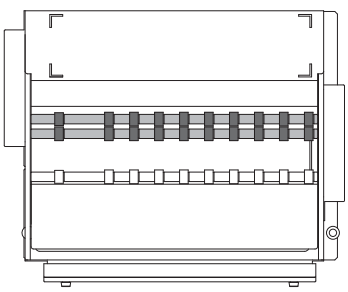
直径 45.0mm 以上 , 65.0mm 未満の場合

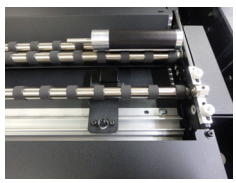
```
テーブルスペーサ 50をセット
大径側にセット        :ent
```

直径 65.0mm 以上の場合

```
テーブルスペーサ なし
大径側にセット        :ent
```

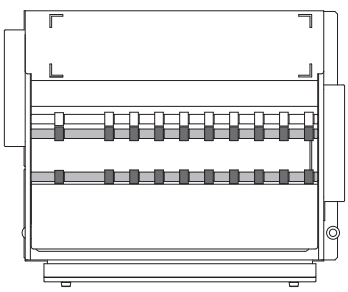
小径セット位置

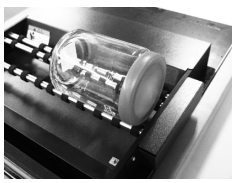




小径セット例

大径セット位置

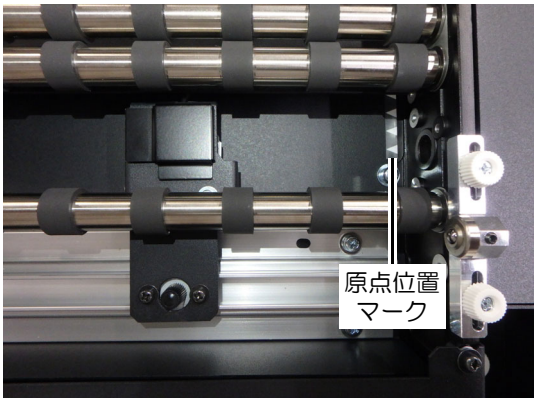




大径セット例

6 ワークをセットする

- ディスプレイの指示に従って、小径または大径セット位置にワークをセットします。
- 底板にある原点位置マークよりも左側にワークをセットしてください。
- 複数回の作図を行い作図のズレを軽減する必要がある場合は、「ワーク押さえ」と「原点マーク検出」を使用してください。(☞ P.35、P.39)



重要!
- ワークをセットするときは、左右の側面板に接触しないようにしてください。
  側面板にワークが接触したまま作図をすると、正確にワークが回転できなくなります。
- 小径ワークを作図する時は、ワーク押さえを取り外してください。ワーク押さえとスライダがぶつかる可能性があります。(☞ P.38)

7 ENTER キーを押す

- ワークがセットされ、END/POWER キーでローカルモードに戻ります。
- プリンタ側でワーク上に作図原点を設定する場合、作図開始位置を設定してください。(☞ P.43)
- 原点マーク検出機能が “ON” の場合、原点マーク検出動作を行います。

前のワークと異なる直径のワークを使用する場合の注意

UJF-3042 MkII, UJF-6042 MkII で、Kebab MkII システム/Kebab MkII L システムを使用している場合、お使いのワークが以下のように変わるときは、Kebab MkII システム/Kebab MkII L システムを一度外し、テーブル支持シャフトの本数を調整して取り付け直す必要があります。

ワーク直径の変更	支持シャフトの本数の変更
65mm 未満→ 65mm 以上	0 本に変更
65mm 以上→ 65mm 未満	1 本に変更

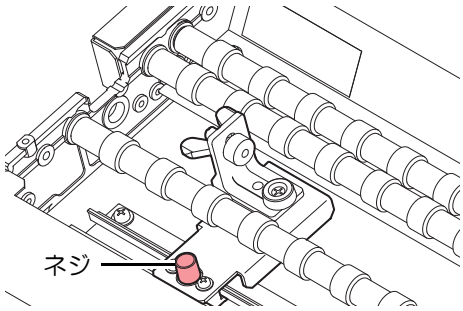
• 取り付け・取り外しの手順は “Kebab MkIIシステムの取り付け•取り外し” をお読みください。

ワーク押さえを使用する

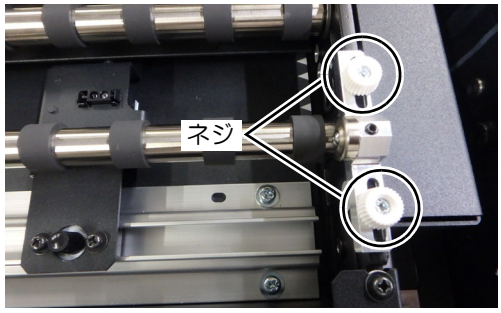
ワーク押さえは、ワークの回転時に左右方向への移動を抑え、複数回の作図時に発生する作図のズレを軽減することができます。

- ワーク押さえは大径ワーク時に使用可能です。
- 小径ワークを作図する時は、ワーク押さえを取り外してください。
- 大径ワーク時でも、ワークの形状によっては、ワーク押さえを使用できない場合があります。

1 左側ワーク押さえのネジを緩めて、セットするワークとぶつからない位置まで移動する

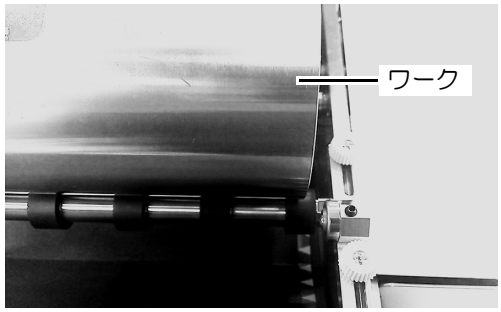


2 右側ワーク押さえを固定するネジ(2本)を軽く緩める



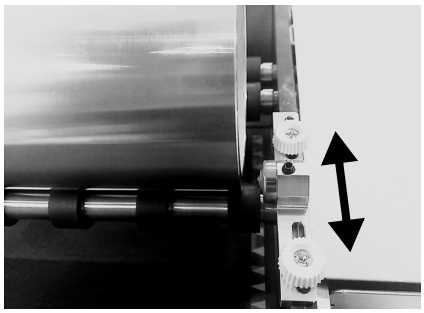
3 右側ワーク押さえの近くにワークを載せる

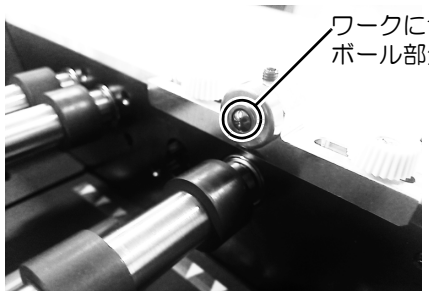
- この後、右側ワーク押さえの調整をするため、ワークとワーク押さえは少し離しておいてください。



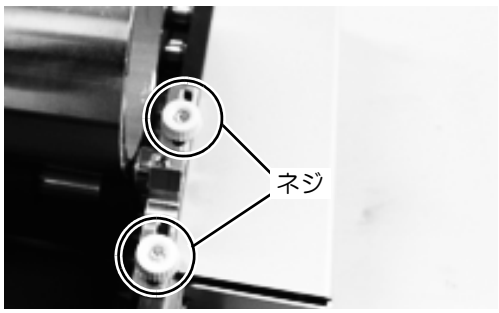
4 右側ワーク押さえのボール部分を、ワーク側面の平らな箇所に合わあせて前後させる

- 凹凸のある側面に合わせた場合、作図に影響がでる場合がありますので、できるだけ平らな面と合わせてください。

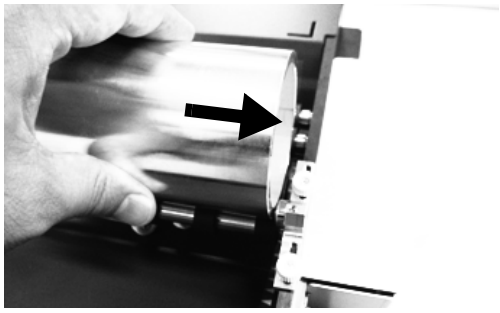




5 右側ワーク押さえを固定するネジ(2本)を締める

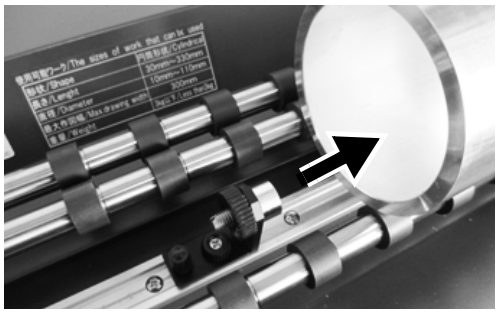


6 ワークに右側ワーク押さえのボール部分を接触させる



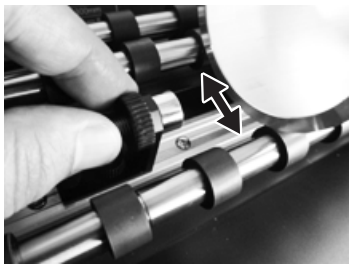
7 左側ワーク押さえをワークに近づける

- この後の左側ワーク押さえ調整のため、ワークと左側ワーク押さえは数センチ開けて置いてください。

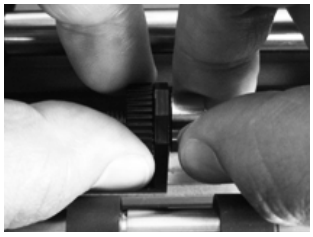


8 ワーク側面の平らな箇所に、左側ワーク押さえのボール部分の高さを合わせる

- ボールの支持部分とナットを緩めて、高さを調整後、締めて行います。
- 凹凸のある側面に合わせた場合、作図に影響がでる場合がありますので、できるだけ平らな面と合わせてください。



緩める / 締める方法



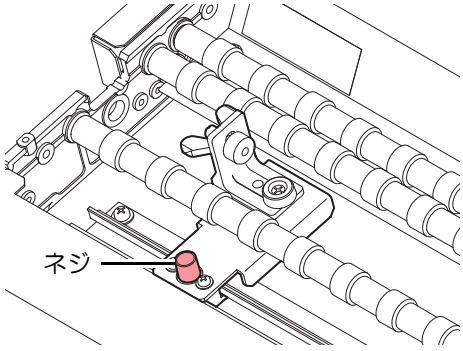


9 左側ワーク押さえをスライドさせて、ワークに左側ワーク押さえのボール部分を軽く接触させる

重要! • 接触させすぎると、ワーク重量によってはワークが浮くなど作図に影響がありますので、軽く接触する程度にしてください。



10 左側ワーク押さえのネジを締める

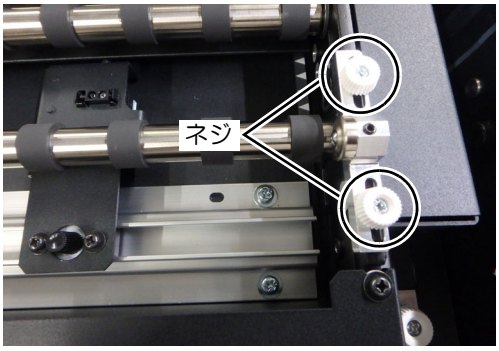


ワーク押さえを取り外す

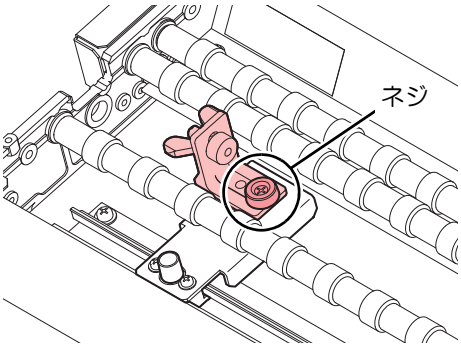
小径ワークを作図する時は、ヘッドやスライダとの衝突を避けるため、ワーク押さえを取り外してください。

1 右側ワーク押さえを取り外す

- 右側ワーク押さえを固定しているネジを緩めて取り外してください。



2 左側ワーク押さえを取り外す



原点マーク検出を使用する

原点マーク検出を行うと、各作図毎にワークに貼り付けた原点マークを検出し、作図開始点を合わせるため、ワークの回転方向の作図ズレを軽減することができます。

原点マーク検出を行うには、下記の手順でプリンタ本体に設定を行う必要があります。

重要!
- 原点マーク検出は、大径ワーク時のみ有効です。
- 電源を OFF すると、原点マーク検出の設定内容はリセットされてしまいます。原点マーク検出機能をお使いになりたい場合は、電源を ON にしたときに再度設定を行ってください。

原点マーク検出を設定する

1 ローカルモードで FUNC1 キーを押す

```
MENU                1/3
ワーク  セット          >
```

2 ▲ ▼ を押して、**UJF200** の場合は **[機能設定]** を選ぶ、その他の機種は **[設定]** を選ぶ

```
MENU                2/3
設定                    >
```

3 ENTER キーを押す

4 ▲ ▼ を押して、**[Kebab 治具]** を選ぶ

```
設定                3/3
Ｋｅｂａｂ治具          >
```

5 ENTER キーを押す

6 ENTER キーを押す
- 原点マーク検出を選びます。

7 ▲ ▼ を押して、**ON/OFF** を選ぶ
- ON に設定した場合、以下の時に原点マーク検出動作を行います。

(1) 各作図の開始前
(2) ワークセットの終了時
(3) Kebab 原点設定の開始時

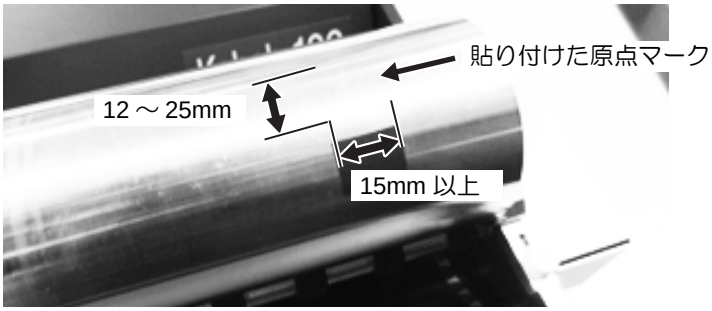
```
Ｋｅｂａｂ治具
原点マーク  検出          ＯＮ
```

8 ENTER キーを押す
- 原点マーク検出が設定されます。
- 終了するとき、END キーを数回押してください。

原点マークを使用する

1 ワークに原点マークを貼り付ける

- 幅 12mm 以上 25mm 以下、長さ 15mm 以上のテープなど
  を原点マークとして、ワークに貼り付けます。



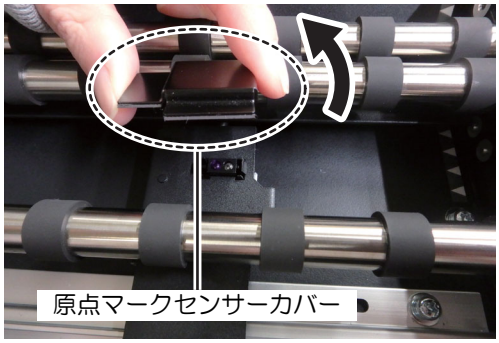
重要！ **原点マークはワークの表面によって、以下のようにテープの種類を使い分けます。**

- アルミなどの高反射の表面ワークには、添付の黒テープなどの反射率が低いもの
- その他のワークには、添付のアルミテープなどの反射率が高いもの
- ワークに模様等がありマーク検出を誤認する場合は、ワークに黒テープを一周貼り付け、黒テープの上に原点マークとしてアルミテープを貼り付けてください。

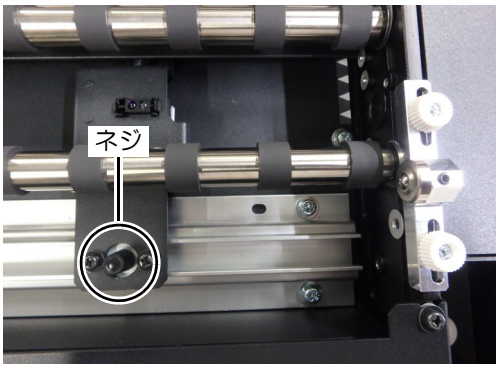
原点マークを貼り付ける位置の一周には、作図しないことをおすすめします。

- 2 回目以降の作図で、印刷した箇所を原点マークと誤認してしまう事があるためです。

2 原点マークセンサカバーを取り外す



3 原点マークセンサを固定するネジを緩める



4 ワークの原点マークと原点マークセンサの位置を合わせる



5 ネジを締めて原点マークセンサを固定する

- 原点マークセンサと原点マークの確認は、ワークセットまたは Kebab セッテイを行う事で可能です。

原点マーク検出を使用しないとき

原点マークセンサを使用しない時は、インクやホコリによる汚れを防止するため、原点マークセンサカバーを取り付けてください。

- 原点マークセンサは、原点センサ付近に磁石で固定されます。



「ERROR 524 ワーク ゲンテン マーク」エラーの対処方法

「ERROR 524 ワーク ゲンテン マーク」は、原点マーク検出の動作中に異常があり、原点マークを検出できなかった場合に発生します。

下記の表に従って、対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

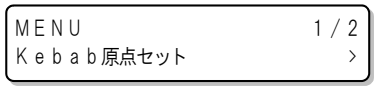
原因	対処方法
原点マークセンサカバーが取り付いたままとなっている。	原点マーク検出を使用する場合は、原点マークセンサカバーを取り外してください。☞ P.40
ワークに貼り付けた原点マークとセンサの位置が合っていない。	再度、原点マークとセンサの位置を合わせてください。☞ P.40
ワークの表面と原点マークの反射が同じため、原点マークを認識できない。	別なテープ（アルミテープの場合は黒テープ、黒テープの場合はアルミテープ）をお試しください。 それでも検出できない場合は、黒テープを一周貼り付けたあと、原点マークとしてアルミテープを使用ください。
ワーク表面の模様や凹凸がある。 (ワーク表面の模様や凹凸を原点マークと誤認することがあります。)	模様は、黒テープを一周貼り付けたあと、原点マークとしてアルミテープを使用ください。 段差は、表面に凹凸のない円周に原点マークをお貼りください。
原点マークが大きいまたは小さいため、原点マークが認識できない。	原点マークを適切な大きさにしてください。☞ P.40
原点マーク検出動作の際にワークが回転していない。	ワークの回転の妨げになっている箇所がないかご確認ください。
原点マークセンサが汚れている。	原点マークセンサを清掃してください。☞ P.57 清掃しても汚れが取れず、エラーが発生する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。
原点マーク検出時に、原点マークセンサに強い光が当たっている。	センサーに強い光を当てないように、照明の方向を変える、日光が差し込む窓のカーテンを締めるなどを行い強い光がセンサにあたらにようにお願いいたします。

作図開始位置を設定する

1 ローカルモードで MENU キーを押す



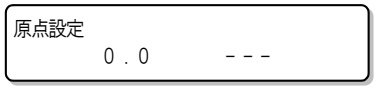
2 ▲ ▼を押して、[Kebab 原点セット] を選ぶ



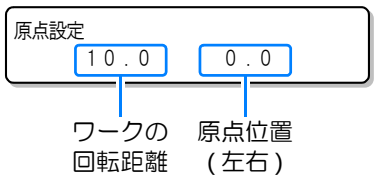
- [Kebab 原点セット] メニューは、Kebab MkII (MkII L) システム取り付け時のみ表示します。
- 直径に合わせてテーブルの高さが変わるため、メニュー選択前に、ワークの直径を入力してください。(☞ P.33)

3 ENTER キーを押す

- テーブルがワークの直径に合わせて上下し、テーブルが前進します。
- テーブルが前進時にディスプレイにワーニングメッセージ “ ワークタカイ ” が表示する場合は、P.33「ワークをセットする」でワークの直径を再設定し、再度、手順 1 より操作してください。
- テーブルの移動が完了すると、Kebab 原点設定モードになります。
- 原点マーク検出機能が “ON” の場合、原点マーク検出動作を行います。

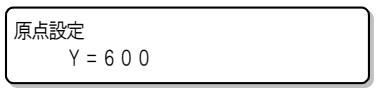


4 ◀ ▶を押して、赤いライトポインタ「●」マークをワーク上まで移動させる



- 作図をしたい位置にライトポインタマークを移動させ、原点位置を設定します。
- ◀ ▶を押すと、スライダが左右に動きます。
- ▲ ▼を押すと、Kebab 上のワークが回転します。

5 原点が決定したら、ENTER キーを押す

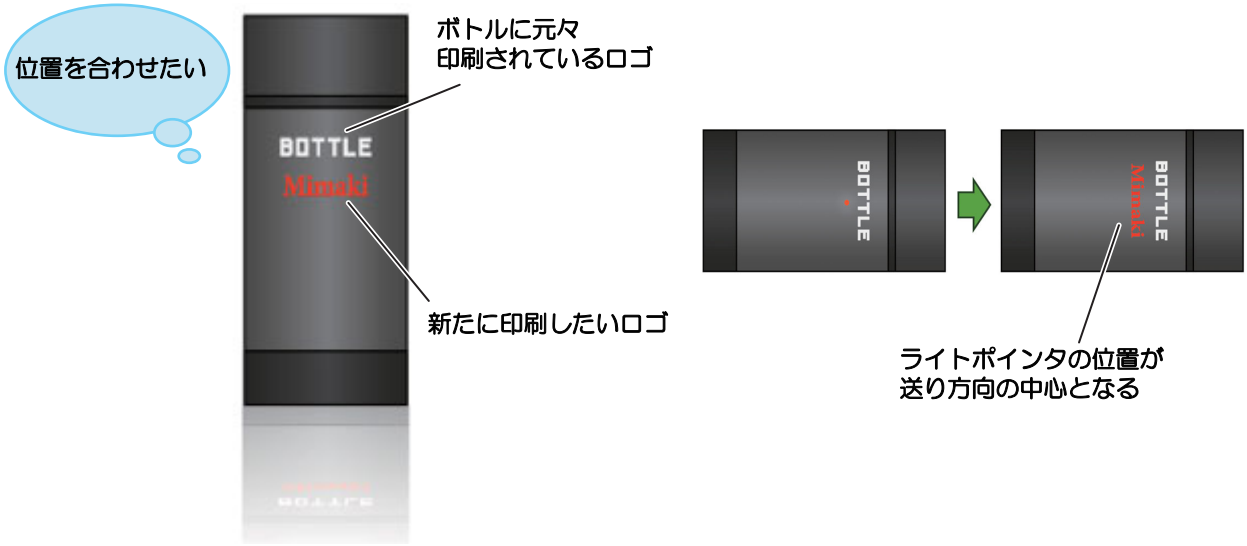


- 作図原点が変更されます。

重要! • ここで [ENTER] キーを押さずに [END] キーを押すと、設定をキャンセルします。手順 4 で回転させたワークは、元の位置に戻ります。

送り方向原点中央を設定する(UJF200のみ)

[送り方向原点中央] を ON にすると指定した原点が印刷画像の送り方向の中央になります。
ボトル等に元々印刷されているロゴと位置を合わせて新しいロゴなどを印刷したい場合、本設定を ON にすることで、原点位置を画像から計算等することなく設定が可能です。



1 ローカルモードで FUNC1 キーを押す

```
MENU                1/3
ワーク  セット          >
```

2 ▲ ▼を押して、[機能設定] を選び、ENTER キーを押す

```
MENU                1/2
機能設定                >
```

3 ▲ ▼を押して、[Kebab 治具] を選び、ENTER キーを押す

```
機能設定
Ｋｅｂａｂ治具          >
```

4 ▲ ▼を押して、[送り方向原点中央] を選び、ENTER キーを押す

```
Ｋｅｂａｂ治具
送り方向原点中央        ＯＮ
```

5 ▲ ▼を押して、[ON] または [OFF] を選び、ENTER キーを押す

- キャンセルする場合は、[END] キーを押してください。

作図データを作成する

ワークに印刷するためのデータを作成します。

- 作図データは、以下の形式で作成してください。
  PS, EPS, TIFF, JPEG, BMP, PDF1.4
- ワークを展開した作図データをご用意ください。

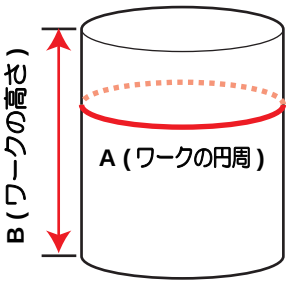
重要!

- 作図データは実際の印刷サイズで作成することをお勧めします。RasterLink で作図データを読み込んだ後に、拡大 / 縮小等をすると画像の縦横比が変わるなどの影響が出ることがあります。

ワークのサイズを測る

まず最初に、正確なワークのサイズを測ってください。
作図をするためには、あらかじめ次のサイズを確認しておく必要があります。

- 下図 (A: ワークの円周 , B: ワークの高さ) のサイズ
- ワークに印刷する作図データのサイズ
  (ワークの円周 =A/ ワークの高さ =B)



作図データのサイズ



テスト作図をする

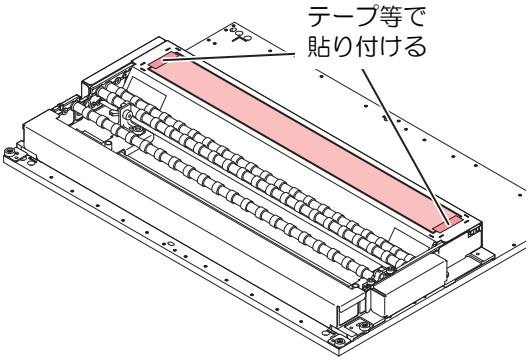
作図を行う前に、テスト作図をしてノズル詰まりなどの作図不良 (カスレや抜け) がないか確認してください。

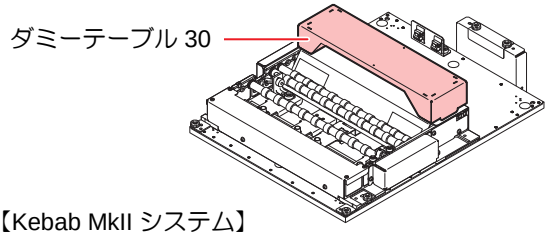
1 Kebab MkIIシステム/Kebab MkII Lシステムの後方に、テスト作図用のメディアをセットする

- メディアはテープ等で貼り付けてください。

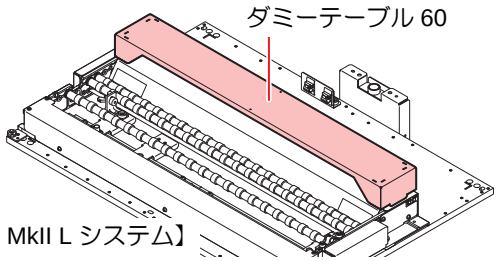
重要！

- UJF-3042MkII/6042MkIIseries3 で、支持シャフトを 2 本外している (ワーク直径 65mm 以上の) 場合、それぞれ付属のダミーテーブルをセットして、テスト作図を行ってください。



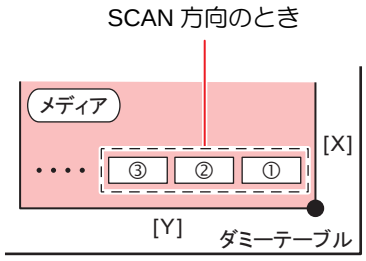


【Kebab MkII システム】



【Kebab MkII L システム】

2 使用しているプリンタの取扱説明書 2 章「テストプリントをする」を参照して、テスト作図を行う



- X, Y 原点とヘッド高さは、自動で設定されます。
- SCAN 方向を選択した場合は、①→②→③ ... とプリントし、プリントエリアを超えると①の位置に戻ります。
- FEED 方向を選択した場合は、①の位置でプリントを行います。
- 作図結果を確認し、正常な場合はデータの作図を行ってください。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。
  (使用しているプリンタの取扱説明書 2 章「ヘッドクリーニングを実行する」を参照してください。)

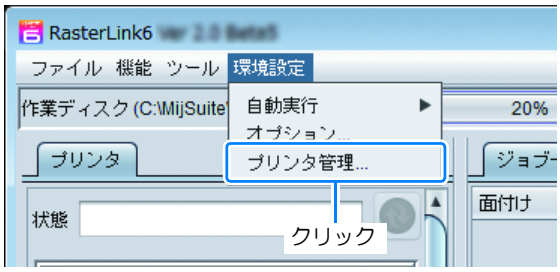
- テスト作図後、実際のワークに作図するときは、作図開始位置 (☞ P.43) で設定した原点に戻ります。
- テスト作図を行うときは、ワーク押さえを取り外してください。ワーク押さえがあると、意図しないギャップで作図する場合があります。

Kebab 印刷を有効にする

Kebab MkII/Kebab MkII L を使ってワークを作図するには、RasterLink で Kebab 印刷機能を有効にする必要があります。

1 [環境設定] から [プリンタ管理] を選ぶ

- プリンタ管理ダイアログが表示されます。



2 使用するプリンタをクリックし、[機能アイコン] をクリックする

- 機能アイコン設定ダイアログが表示されます。



3 “Kebab 印刷 ” をチェックする

4 [OK] をクリックする



5 [閉じる] をクリックして、プリンタ管理を終了する

- “Kebab 印刷 ” アイコンが表示されます。

データを作図する

重要！
- 軽量のワークや凹凸のあるワークを作図する場合、ワークとローラーの摩擦が低くなるなどの理由により、滑って正確な作図ができなくなる可能性があります。
  実際のワークで作図をする前に、サンプルのワークで作図することをお勧めします。
- 本書と合わせて、RasterLink のリファレンスガイドをよくお読みください。

RasterLink でワークに合わせた印刷サイズ調整用ジョブ (周長測定ジョブ) を作成し、作図するデータのサイズを調整することができます。
- RasterLink では、ワークに作図するサイズを確認するためのジョブを入力したワークの直径に合わせて自動的に作成できます。(☞ P.52)

作図を開始する

1 調整用のワークをセットする

- P.33「ワークをセットする」を参照してワークをセットしてください。
- あらかじめ、作図するワークのサイズを測定し、円周やワークの高さなどにピッタリと合わせた作図用データをご用意ください。(☞ P.46「作図データを作成する」)

2 プリンタのローカルモードで、REMOTE キーを押す

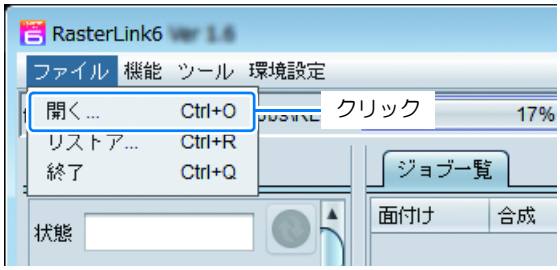
- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。
- テーブルの高さを表示します。

3 作図するデータをスプールする

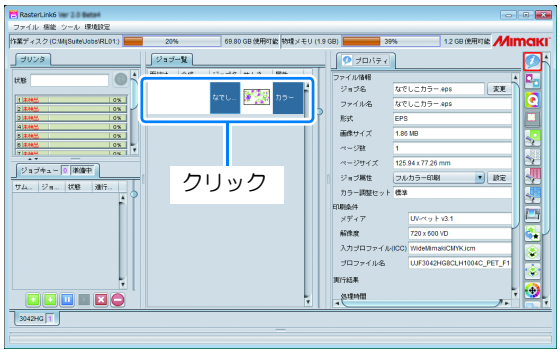
- [ファイル] - [開く] メニューを選択します。

4 作図するファイルを選択し、[開く] をクリックする

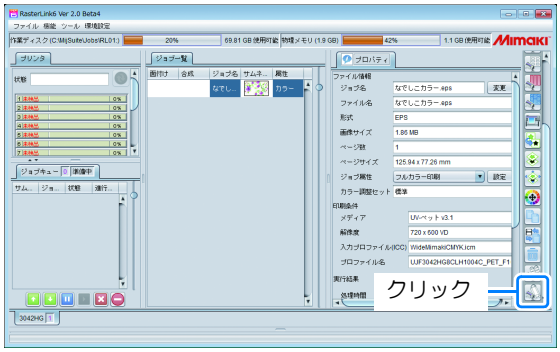
- ファイルが読み込まれ、ジョブ一覧に読み込んだファイルが表示されます。



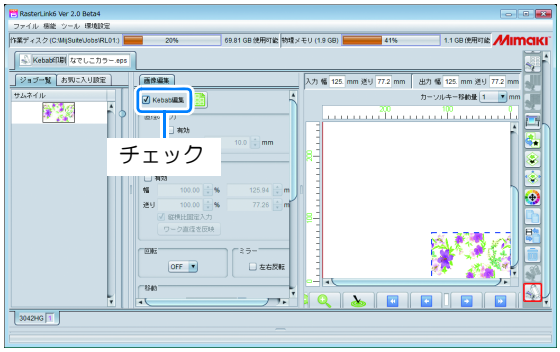
5 作図するジョブを選択する



6  (Kebab 印刷) アイコンをクリックする

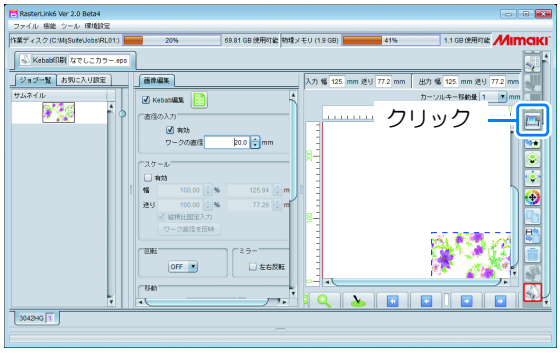


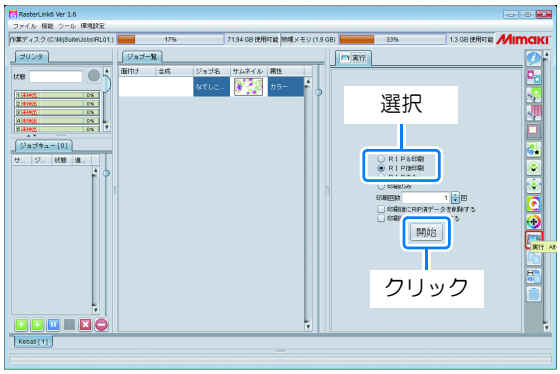
7 “Kebab 編集 ” をチェックする



8  (実行) をクリックする

- [実行] メニューが表示されます。
- [RIP ＆印刷] または [RIP 後印刷] を選択し、[開始] をクリックします。

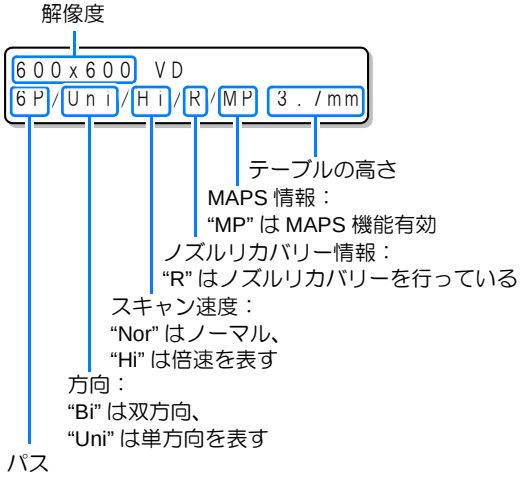




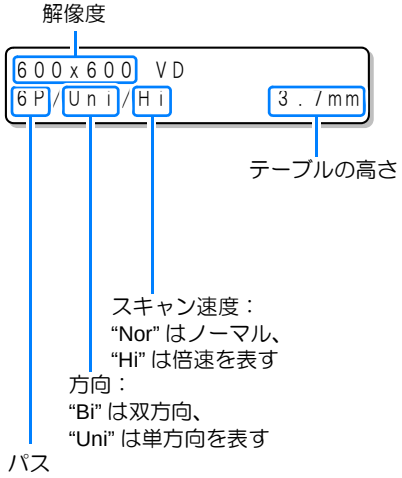
9 コンピュータから作図するデータが送信される

- 作図条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

【UJF-3042MkIIseries/6042MkIIseries UJF200-3042/6042】



【UJF-7151 plus series】



10 作図開始

11 作図終了後、ワークを取り外す

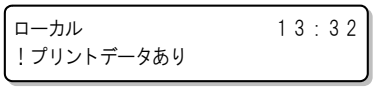
作図を中止する

作図を途中で中止する場合、作図動作を止め、すでに受信したデータを本機から消去します。

1 コンピュータからのデータ送信を止める

2 作図中に FUNC3 キーを押す

- 作図動作を中止します。

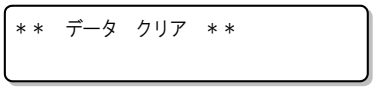


3 SEL キーを押してから、DATACLEAR キーを押す



4 ENTER キーを押す

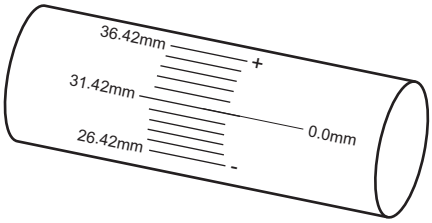
- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。



印刷サイズ調整用のジョブ (周長測定ジョブ) を使って、実際にプリントするときの印刷サイズを確認する

実際の印刷用データでは印刷サイズが分かりづらかった場合、印刷サイズ調整用のジョブ (周長測定ジョブ) を使って、印刷サイズを確認できます。

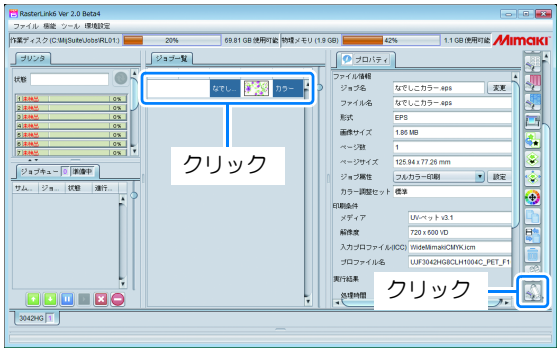
周長測定ジョブを使うと、ワークには右図のように印刷します。



1 「作図を開始する」手順1～4の操作をする

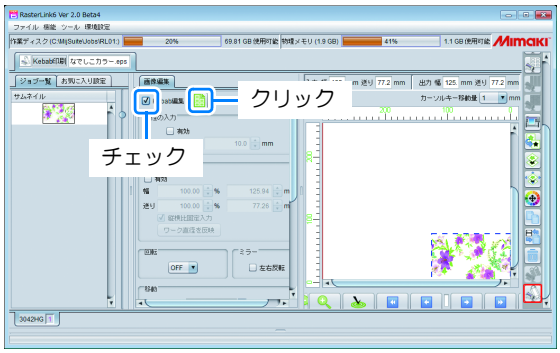


2 スプールしたジョブを選択し、(Kebab 印刷) アイコンをクリックする

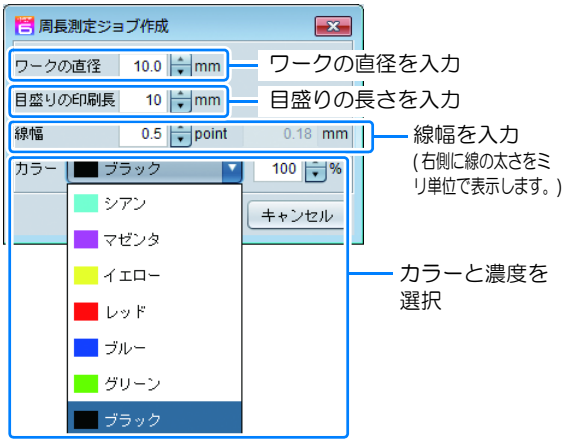


3 “Kebab 編集 ” をチェックし、(周長測定ジョブ) アイコンをクリックする

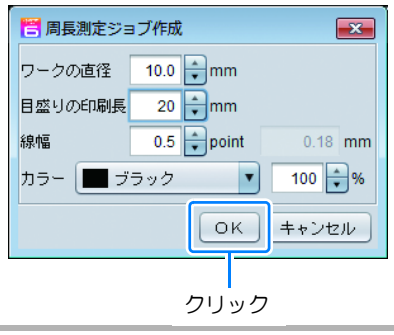
- 周長測定ジョブダイアログが表示されます。



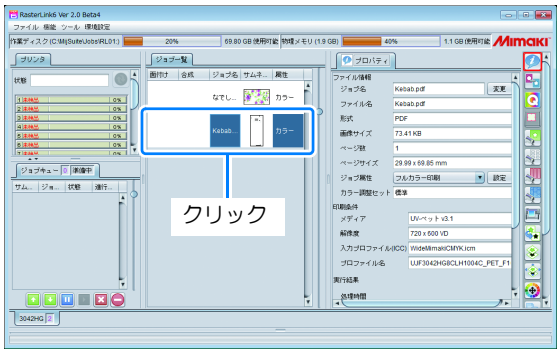
4 ワークの直径/目盛りの長さ/印刷する線幅 / 線の色を設定する



5 [OK] をクリックする



6 ジョブ一覧を表示させ、作成した周長測定ジョブをクリックする

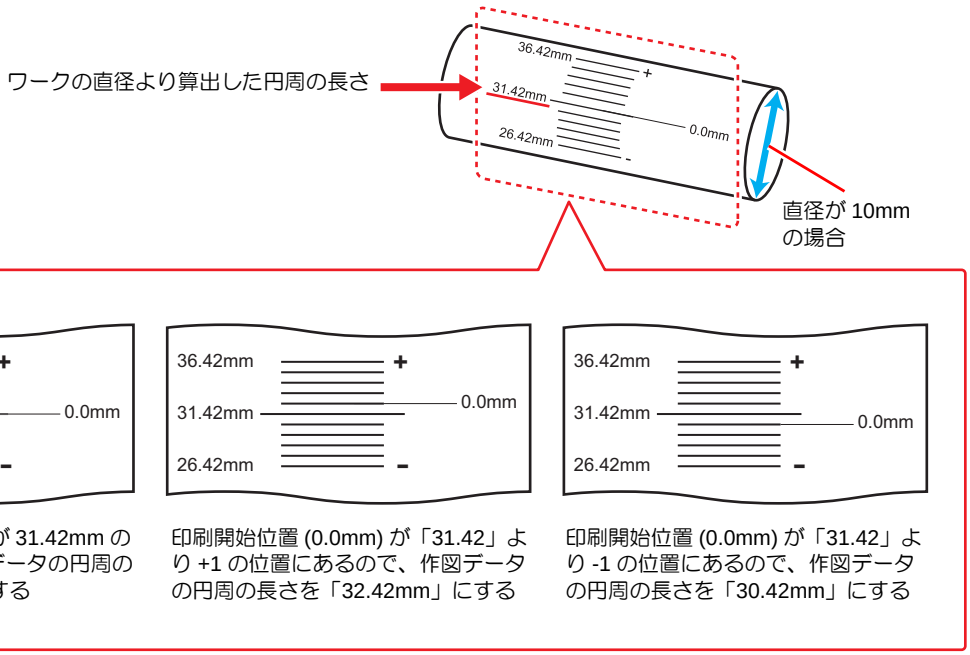


7 「作図を開始する」手順 8 からの操作をし、作図する

- 作図結果を確認し、周長を確認します。
- 実際に作図するときは、確認した周長に合わせて、作図データを修正するか、[スケール] の “ ワーク直径を反映 ” をクリックしてから作図してください。

8 作図結果を確認する

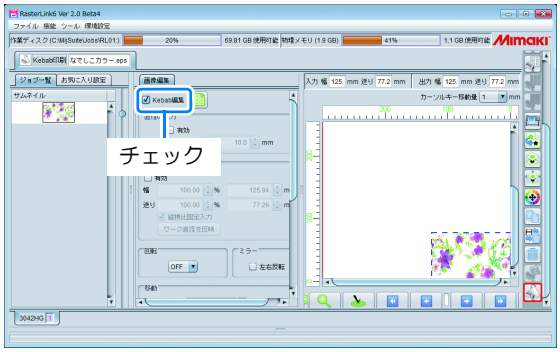
- 周長測定ジョブを作図すると、印刷開始位置 (0.0mm) と印刷終了位置それぞれにスケールを作図します。
- 印刷終了位置のスケールは 1mm ピッチになっています。



ワークの作図エリアピッタリにデータを作図するには

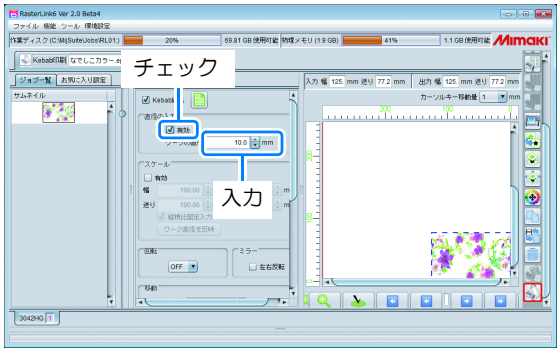
サンプルのワークで作図したときに、画像が重なっていたり、隙間が空いてしまう場合などは、次のようにすれば、ワークサイズにピッタリ合うように作図することができます。

1 「作図を開始する」手順1～7の操作をする

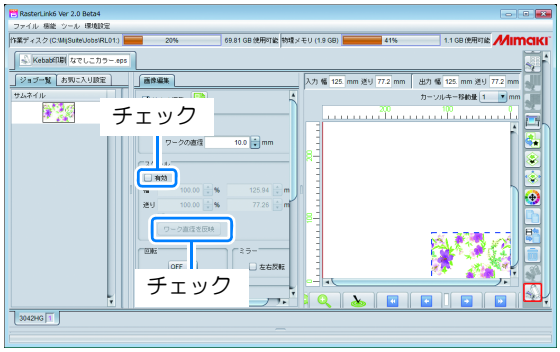


2 「直径の入力」画面で“有効”をチェックし、セットするワークの直径を入力する

- ワークの直径を入力することにより、自動的にワークの円周が計算されます。



3 「スケール」画面で“有効”をチェックし、“ワーク直径を反映”をクリックする



4 「作図を開始する」手順8からの操作し、作図する

お手入れ

ローラ軸を清掃する

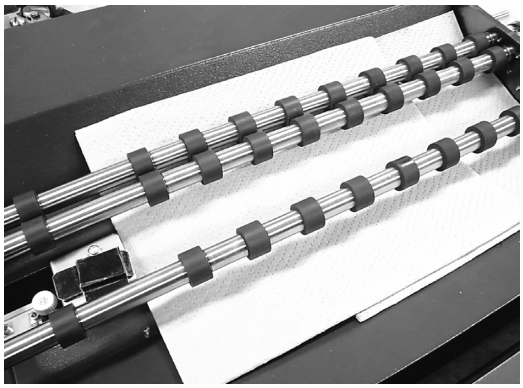
本機を末永くご利用いただくために、インクでローラ軸が汚れた場合は以下の作業でローラ軸を清掃してください。

- 清掃は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してから行ってください。(ゴーグルと手袋は、プリンタの付属品をお使いください。)
- 洗浄液は皮膚に付かないようにしてください。
- 清掃は Kebab MkII システムをプリンタ本体から取り外してから行ってください。

作業に必要なもの	• 手袋	• ゴーグル	• 紙タオル
	• ベンコット (A101437) またはメンテナンス用クロス (SPC-0574)		
	• F200/LF200 用 メンテナンス用洗浄液 100 (SPC-0568)		

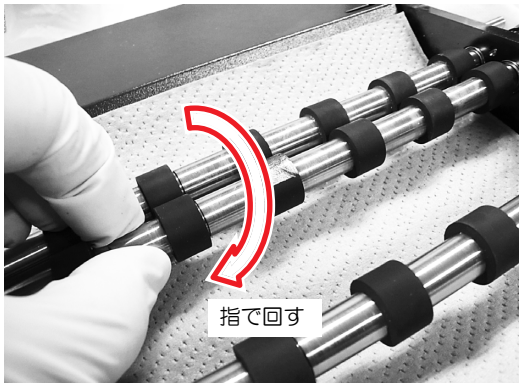
1 清掃するローラー軸の下に紙タオルを敷いて、原点マークセンサにカバーを取り付ける

- カバーや原点マークセンサに洗浄液が付くのを防ぎます。



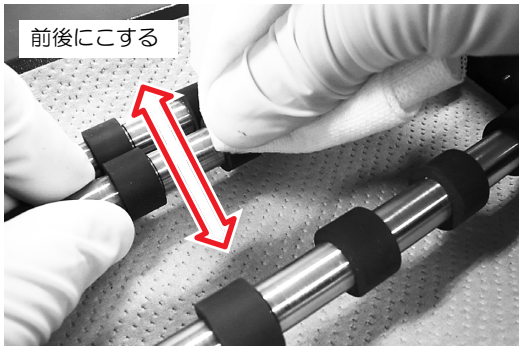
2 インクで汚れたゴム部分が見える位置まで、ローラ軸を回す

- ローラを回す際は、ローラ軸の金属部分を指で摘み、ゆっくりと回してください。



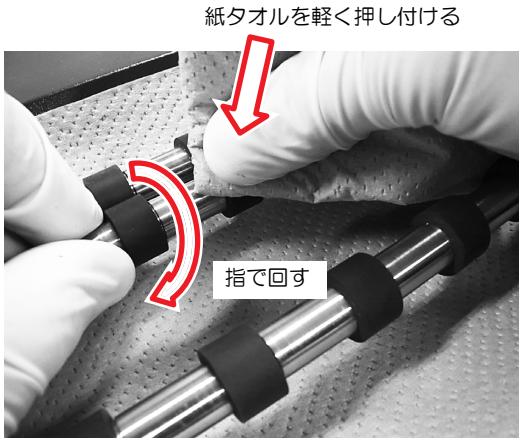
3 洗浄液を染み込ませたベンコットンで、インク汚れ部分を前後にこする

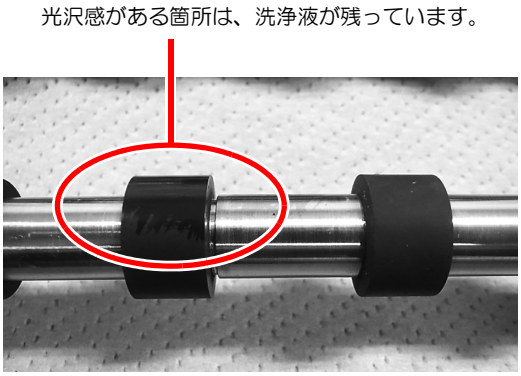
- こする際にローラが回転しないように、指で押さえてください。
- 強くこすりすぎないように注意してください。
- 原点マークセンサ、カバーなどローラ軸以外の箇所に洗浄液が付かないように注意してください。



4 紙タオルでローラ軸に付いた洗浄液を拭きとる

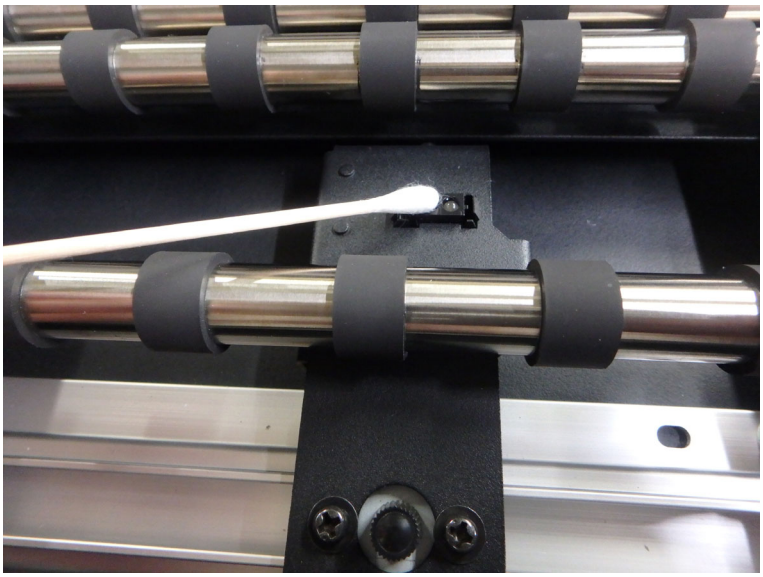
- 紙タオルをローラ軸に軽く押し当て、ローラ軸を指でゆっくり回してください。
- ゴム部分に光沢感がなくなるまで拭きとってください。光沢感がある場合は、洗浄液が残っています。
- 強く押し付けないように注意してください。
- 複数箇所に汚れがある場合は、手順 2 ～ 4 の作業を繰り返してください。





原点マークセンサを清掃する

原点マークセンサにホコリなどががたまると、原点マークの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。



本体仕様

項目		仕様	
		Kebab MkII システム	**Kebab MkII L システム**
対応プリンタ		UJF-3042MkII, UJF-3042MkII e, UJF200-3042	UJF-6042MkII, UJF-6042MkII e, UJF-7151plus, UJF-7151plusII, UJF200-6042
作図分解能		対応プリンタに準ずる	
作図モード			
使用可能インク			
使用可能ワーク	形状	円筒形状ワーク	
	長さ	30mm 以上 300mm 以下	30mm 以上 600mm 以下
	直径	10mm 以上 110mm 以下	
最大作図範囲		長さ 300mm 以下	長さ 600mm 以下
作図可能ワーク重量		小径 : 1.5kg 以下 / 大径 : 2.0kg 以下	
インターフェース		対応プリンタと専用コネクタで接続	
電源仕様		対応プリンタより専用コネクタで給電	
安全規格		VCCI クラス A, CE マーキング , CB レポート , UL60950-1 (対応プリンタと接続時)	
本体重量		約 3 kg	約 6 kg
外形寸法		(W) 370 x (D) 310 x (H) 65 mm 以下	(W) 680 x (D) 310 x (H) 65 mm 以下

*1 対応するファームウェアにバージョンアップ必須

*2 他のワークやユニットに接触のないこと

Kebab MkII システム , Kebab MkII L システム取扱説明書

2026 年 11月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D203139-31-20112026



KM

© 2016 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.